OLYMPUS®

ボイストレック

DS-750
DS-700

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす場合があります。取扱説明書にしたがって正しくお使いください。

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。
- EUPHONY MOBILE は、DiMAGIC（ダイマジック社）の商標です。
- DVM は、DiMAGIC（ダイマジック社）の商標です。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

目次

5 本機をパソコンでお使いいただくためには

6 パソコン上でファイルを管理する

7 コンテンツを取り込んで楽しむ

8 資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

<データ消失に関する注意事項>

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
本製品は故障 , 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電池について

⚠ 危険

火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⊕と⊖端子を接続しないでください。

発熱や感電・火災の原因になります。

電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱や感電・火災の原因になります。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。

② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

２本の電池を同時に充電してご使用ください。

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは有限責任中間法人 JBRC ホームページ（**http://www.jbrc.com**）をご覧ください。

Ni-MH

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
– 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
– 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
①速やかに電池を抜いてください。
②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

注意

操作前から、音量を上げないでください。

聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

ソフトウェアについて

警告

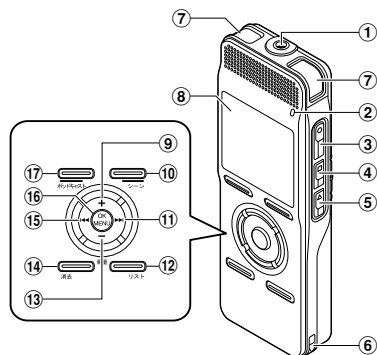
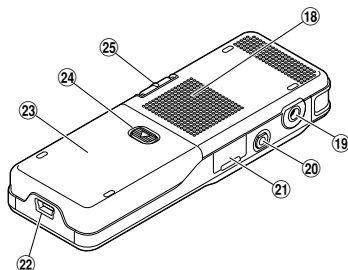
付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで再生しないでください。

スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

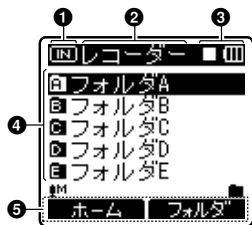
主な特長

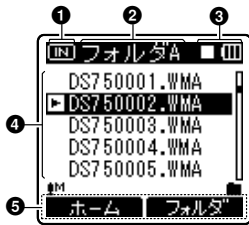
● CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式に対応。さまざまな音源を、リアルに録音できます。
音楽CD（サンプリングレート 44.1 kHz、ビット数 16 bit）以上の高サンプリングレートでの高解像度録音が可能です（☞ P.67）。
● 多彩な録音形式に対応。MP3 形式（MPEG-1 Audio Layer3）をはじめ、WMA（Windows Media Audio）形式にも対応。
ファイルを高圧縮で保存できるので長時間録音も可能です（☞ P.67）。また、外部機器を接続すればアナログ音声入力信号をパソコン無しでエンコードできます（☞ P.33）。
●大容量記録メディアに対応。内蔵の 4GB メモリのほかに、市販品の microSD カードにも記録できます（DS-750 のみ）（☞ P.23）。
本機で動作確認済みの microSD カードについては、弊社 Web サイトでご確認ください。http://olympus-imaging.jp/
● 本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、WMA、MP3 形式のファイルを再生できます。
ミュージックプレーヤーとして、いつでもお楽しみいただけます。
● 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能（☞ P.74）と、ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能（☞ P.73）を搭載しています。
● 録音レベルを自動または手動で調整することができます（☞ P.69）。
● ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能(☞ P.83)と、音声フィルタ機能（☞ P.85）を搭載しています。
● WMA 形式の録音では、ステレオ録音とモノラル録音、合わせて 6 種類の録音モードが選択できます（☞ P.67）。
● 用途に合わせてあらかじめ録音または再生の音質やモード設定を登録することができる録音シーン設定（☞ P.81）と再生シーン設定（☞ P.96）機能を搭載しています。
● 内蔵メモリと microSD カード間のファイル移動またはコピーと、メモリ内の各フォルダへのファイル移動またはコピーができます（DS-750 のみ）（☞ P.58）。
● 本機で録音した PCM 形式のファイルは、ファイルの分割をしたり（☞ P.61）、ファイルの一部分を消去することができます（☞ P.47）。
● フルドット表示のバックライト付きディスプレイ（液晶表示パネル）を採用しています（☞ P.14）。
● 多彩なリピート機能を搭載しています（☞ P.44、P.86）。
● インデックスマークやテンプマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます（☞ P.42）。
● 再生スピードをお好みに合わせて調節できます（☞ P.88）。
● 操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能（日本語・英語対応）を搭載。多彩な機能も簡単に操作できます（☞ P.104）。
● オリジナルのフォルダ名が入力できます（☞ P.109）。
● タイマー録音（☞ P.77）やアラーム再生機能（☞ P.92）を搭載しているので、設定した時間に録音や再生を自動的に行えます。

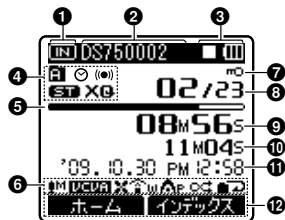
● 拡がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音までの切り替えを可能とした、指向性マイク機能を搭載しています（☞ P.71）。
● 聞きたいファイルを探す時に便利なイントロ再生機能を搭載しています。（☞ P.106）。
● 音質劣化がなく自然な臨場感を作り出すEUPHONY　MOBILE を搭載しています（☞ P.84）。
● 設定した間隔で、早送りや早戻しができます（☞ P.90）。
● Windows と Macintosh に対応する専用ソフトウェアの Olympus Sonority を付属しています（☞ P.121）。
  • 本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送すれば、再生や整理、編集などが簡単に行えます。
  • 波形編集やファイルの統合、分割ができます。
  • パソコンにつないで USB マイクやUSB スピーカとしてもご使用になれます（☞ P.137）。
● Olympus Sonority はより高い機能を備えた Olympus Sonority Plus にアップグレード（有償）することが可能です（☞ P.138）。
  •Olympus Sonority の機能に加え、MP3 ファイルの編集や音楽 CD の作成ができます。
● USB2.0 に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送することができます。
● USB 充電機能を搭載しています（☞ P.17、P.18）。
● ポッドキャストの再生に対応（☞ P.153）。
  • Olympus Sonority にお好みのポッドキャストの URL を登録しておけば、最新の放送内容を自動的に受信します。本機のポッドキャストボタンを押せば、Olympus Sonority から本機に転送した番組（ファイル）をすばやく聴くことができます。

各部のなまえ

① **マイク**ジャック
② 録音表示ランプ
③ **録音（●）**ボタン
④ **停止（■）**ボタン
⑤ **再生（▶）**ボタン
⑥ ストラップ取り付け部
⑦ 内蔵ステレオマイク
⑧ ディスプレイ（液晶表示パネル）
⑨ **+** ボタン
⑩ F2 ／**シーン**ボタン
⑪ **▶▶I** ボタン
⑫ **リスト**ボタン
⑬ **－**ボタン
⑭ **消去**ボタン
⑮ **I◀◀** ボタン
⑯ OK ／ MENU ボタン
⑰ F1 ／**ポッドキャスト**ボタン
⑱ 内蔵スピーカ
⑲ **イヤホン**ジャック
⑳ **リモート**ジャック
- 専用リモコンセット RS30W（別売）の受信部を接続すると、リモコンで本機の録音／停止の操作ができます。

㉑ カードカバー（DS-750 のみ）
㉒ USB 端子
㉓ 電池カバー
㉔ 電池カバーリリースボタン
㉕ **電源／ホールド**スイッチ

ディスプレイ（液晶パネル）[レコーダー] モード表示画面

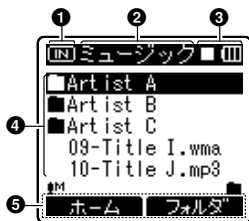
フォルダリスト表示画面

❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のフォルダ名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
❹ フォルダ名
❺ ファンクションガイド表示

ファイルリスト表示画面

❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のフォルダ名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
❹ ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

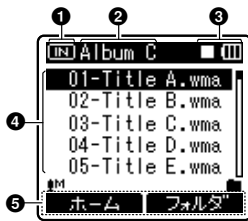
ファイル表示画面

❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のファイル名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
[▶] 再生表示 / [●] 録音表示
[❚❚] 一時停止表示 / [■] 停止表示
[F] 早聞き再生表示 / [S] 遅聞き再生表示

❹ フォルダ表示／録音モード表示／
[⏲] タイマー表示／ [((•))] アラーム表示
❺ メモリ残量バー表示／再生位置バー表示
❻ アイコン表示部
[M] マイク感度表示
[VCVA] VCVA 表示
[X] ローカットフィルタ表示
[W] 指向性マイク表示
[NR] ノイズキャンセル表示
[VF] 音声フィルタ表示
[F] EUPHONY 表示
[] [] 再生モード表示
❼ ファイルロック表示
❽ ファイル番号／フォルダ内の総ファイル数
❾ 録音経過時間／再生経過時間
❿ 録音可能な残り時間／ファイルの長さ
⓫ 録音日時 / レベルメーター
⓬ ファンクションガイド表示

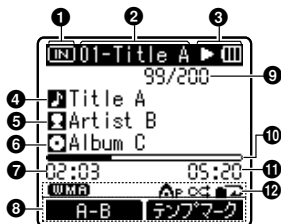
ディスプレイ（液晶パネル）
[ミュージック][ポッドキャスト]モード表示画面

リスト表示画面 ①

フォルダ内にファイルとフォルダがある場合

❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のフォルダ名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
❹ フォルダ名 / ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

リスト表示画面 ②

フォルダ内にファイルのみがある場合

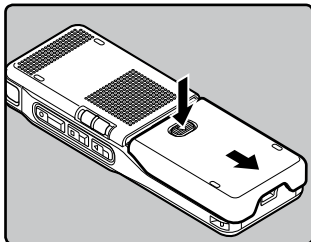
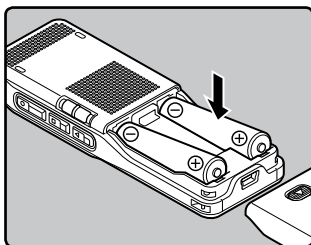
❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のフォルダ名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
❹ ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

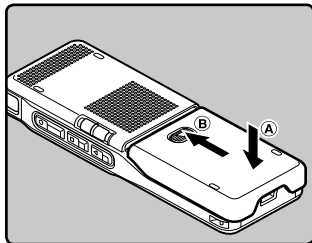
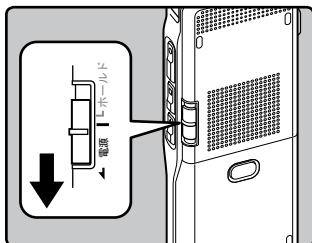
ファイル表示画面

❶ 記録メディア表示（DS-750 のみ）
❷ 現在のファイル名
❸ 本機の動作状態 / 電池残量表示
❹ タイトル名
❺ アーティスト名
❻ アルバム名
❼ 再生経過時間
❽ ファンクションガイド表示
❾ ファイル番号／
フォルダ内の総ファイル数
❿ 再生位置バー表示
⓫ ファイルの長さ
⓬ アイコン表示部
[WMA] ファイル形式表示
[AF] EUPHONY 表示
[ ] [ ] 再生モード表示

電源について

電池を入れる

本機は充電池（付属）のほかに、単4形アルカリ乾電池（市販）を使用できます。

1 電池カバーリリースボタンを軽く押しながら、電池カバーをスライドさせて開ける

2 電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる

- 本機で充電する場合、必ず付属の専用ニッケル水素充電池（BR401）をご使用ください。
- 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、完全に充電することをおすすめします（☞ P.17、P.18）。

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じて、Ⓑ の方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める

4 **電源／ホールド**スイッチを矢印の方向にスライドさせ電源を入れる

- ディスプレイの「**時**」表示が点滅表示する場合、「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」をご覧ください（☞ P.21）。

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかわります。

[▥] ➔ [▥] ➔ [▮]

- ディスプレイに［▮］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、［⊠］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。

ご注意

- 本機では、マンガン電池はご使用になれません。
- 交換の際は単4形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用ください。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる等の故障が発生する恐れがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が15分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になる場合があります（☞ P.21）。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- スピーカで音声・音楽ファイルを再生するとき、電池残量表示が［▥］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてお使いください。
- 充電池をお買い替えの場合、必ずニッケル水素充電池BR-401をご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

パソコンとUSB接続して充電する

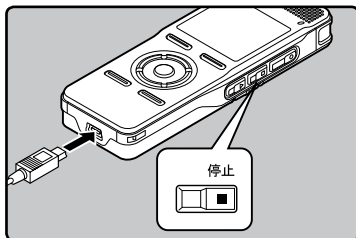
パソコンのUSB端子に接続して充電できます。充電をする場合、充電池（付属）を本体に正しく入れてください（☞ P.16）。

アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を絶対に充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因になります。

1 パソコンを起動する

2 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

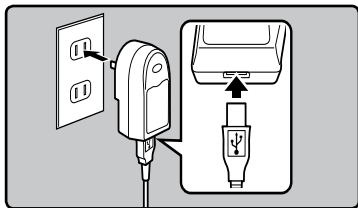
3 本機が停止またはホールド状態で**停止■**ボタンを押しながら、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

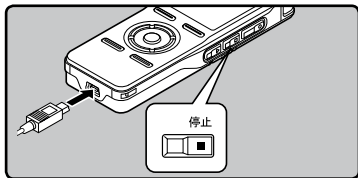
- **停止■**ボタンを押している間はディスプレイに［**充電接続モード**］が表示されます。
- ディスプレイに［**充電中**］と表示されるまで、**停止■**ボタンを押し続けてください。

1 電源について

USB 接続 AC アダプタ（別売）と接続して充電する

USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）と接続して充電できます。
AC アダプタを接続する前に、本機の USB 接続設定を［**AC アダプタ接続**］に切り替えてください（☞ P.110）。

1 AC アダプタを家庭用電源のコンセントに差し込む

2 AC アダプタに本機に付属の USB 接続ケーブルを差し込む

3 本機の電源が切れている状態で、**停止** ■ ボタンを押しながら、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

- ディスプレイに［**充電接続モード**］が表示されます。
- ディスプレイに［**充電中**］と表示され、充電を開始します。

ご注意

- 本機が録音または再生中、Olympus Sonority で波形編集中は充電が一時停止します。
- ＵＳＢ接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。パソコンの電源が入っていない場合やパソコンがスタンバイ、休止、スリープモードの場合、充電できません。
- USB ハブを使用してパソコンと接続して充電しないでください。
- ［**充電できません**］が表示された場合、充電できない電池が入っています。すぐに付属の充電池に入れ替えてください（☞ P.16）。
- 電池表示が［F］になったら充電完了です（充電時間約 4 時間 *）。
  * 室温で電池残量がない状態から満充電する場合の目安です。電池の残量や充電の状態などにより変化します。
- ［C］*1 または［H］*2 が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  *1［C］：周囲の温度が低い場合
  *2［H］：周囲の温度が高い場合
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になった場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

充電について

ニッケル水素充電池（BR401）をご使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ **操作温度：**

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ **推奨温度範囲：**

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために、充電池を取り外して保管してください。

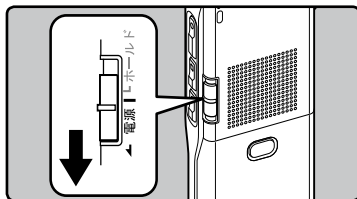
ご注意

- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 充電池は、関係する法令にしたがって処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合は、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

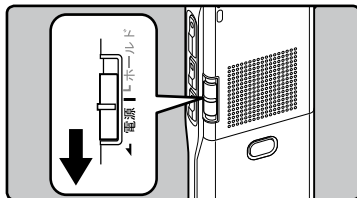
電源を入れる／切る

本機をお使いにならない場合、電源を切ることで、電池の消耗を最小限に抑えることができます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

本機の電源が切れている状態で電源／ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる

- ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る

電源／ホールドスイッチを、矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

- ディスプレイが消灯し電源が切れます。
- レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

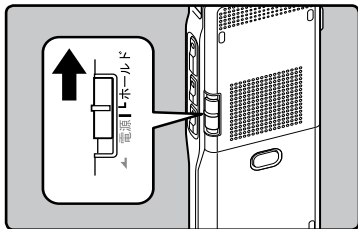
スリープモードについて

電源を入れて停止状態のまま10分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります。また、スリープモードへの移行時間は［**5分**］［**10分**］［**30分**］［**1時間**］［**OFF**］の中から選んで設定できます（☞ P.108）。
スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する－ホールド機能

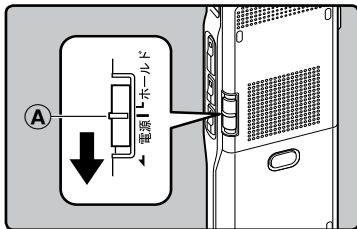
電源／ホールドスイッチを［**ホールド**］にすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。また、録音中に誤って停止してしまうことを防ぐことができます。

ホールドにする

電源／ホールドスイッチを［ホール ド］の位置にスライドさせる

• ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

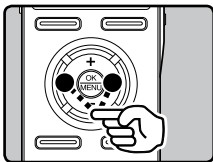
ホールドを解除する

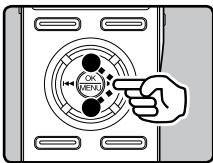
電源／ホールドスイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる

ご注意

• ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
• 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。
• ホールドの状態でも、接続した専用リモコンセット RS30W（別売）の操作は有効です。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。

ご購入後初めてお使いになるときや、電池交換などで 15 分以上電池を抜いた後に電源を入れると、［時計を設定してください］と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- **「時」「分」「年」「月」「日」** の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 + または − ボタンを押して設定する

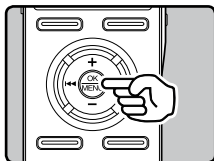
- 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、**+** または **−** ボタンを押して設定を行います。

- 時、分の設定中、**F1** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 20 分の場合
PM　10時20分 ◀━▶ 22時20分
（初期設定）

- 年、月、日の設定中、**F1** ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

例：2009 年 4 月 15 日の場合

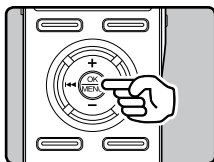
2009年4月15日（初期設定） ──▶ 4月15日2009年 ──▶ 15日4月2009年 ──▶（2009年4月15日に戻る）

3 OK ボタンを押して設定を完了する

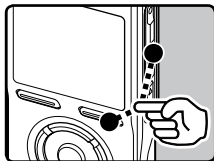
- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて **OK** ボタンを押してください。

ご注意

- 設定の途中に **OK** ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 設定後、［**音声ガイドが必要ない場合は、OFF を選択してください**］とアナウンスが流れ、音声ガイド設定 (☞ P.104) に移行します。音声ガイドが不要なときは、［**OFF**］を選択してください。

日付・時刻の設定をかえるには

停止中に**停止 ■** ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］を確認できます。現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

1 メニューの［本体設定］で［時計設定］を選ぶ

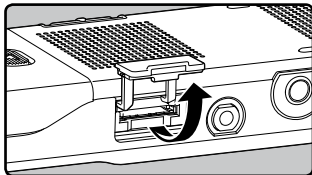
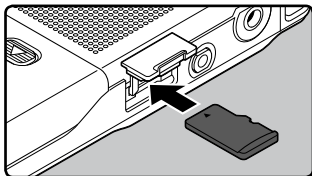
- ［**時計設定**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49 ～ P.50 をご覧ください。
- 「**時**」表示が点滅します。

以下は「**日付・時刻を合わせる [Time & Date]**」の手順 1 から手順 3 の設定と同じです (☞ P.21)。

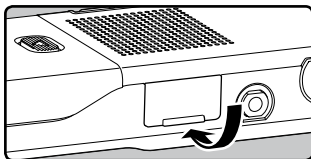
2 F2 または**停止 ■** ボタン押して、メニュー画面を終了する

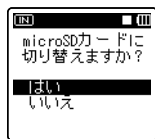
microSD カードを入れる／取り出す（DS-750 のみ）

取扱説明書に記述されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。本機では、内蔵メモリのほかに市販の microSD カードをご使用になれます。

microSD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける

2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。
- microSD カードを奥まで差し込むと、カチッという音がして止まります。
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- microSD カードが奥まで挿入されていないと、microSD カードに記録できなくなる場合があります。

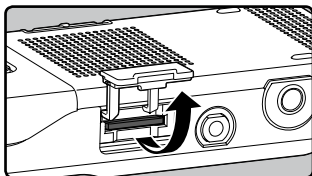
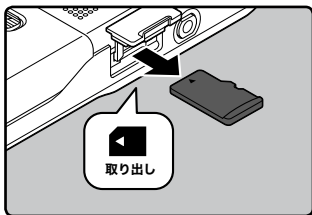
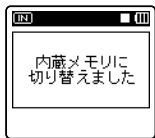
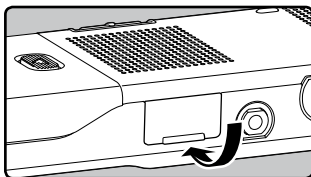
3 カードカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

4 microSD カードに記録する場合、**+**または**−**ボタンを押して、［はい］を選ぶ

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

ご注意

- 記録メディアを内蔵メモリへ切り替えることもできます（☞ P.107）。
- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機でフォーマットしてください（☞ P.114）。

microSD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す

- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- ［**メモリ選択**］を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。

3 カードカバーを閉じる

ご注意

- microSD カードを取り出す際に microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- 本機で動作確認済みの microSD カードについては、弊社 Web サイトでご確認ください。
  http://olympus-imaging.jp/
- microSD カードによっては本機との相性により正しく認識しないことがあります。
- microSD カードが認識されない場合は、microSD カードを取り出してからもう 1 度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化しなおしてください（☞ P.114）。

フォルダについて

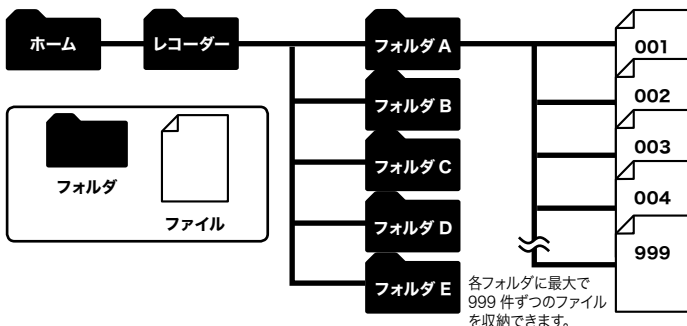
記録メディアは、内蔵メモリまたはmicroSD カード (DS-750のみ) を使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイルやコンテンツファイルは、ツリー型に構成された［**レコーダー**］、［**ミュージック**］、［**ポッドキャスト**］フォルダにそれぞれ振り分けて保存されます。

ファンクションガイド表示部に［**ホーム**］が表示されているときに、**F1** ボタンを押すとホーム画面に戻ります。［**レコーダー**］、［**ミュージック**］、［**ポッドキャスト**］モードを切り替えたいときに便利です。

ご注意

- ［**ホーム**］、［**レコーダー**］フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機では表示されません。

音声録音用フォルダについて

［**レコーダー**］フォルダ内の［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］は音声録音用フォルダで、本機で録音を行う場合、この 5 つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

DS75 0001 .WMA

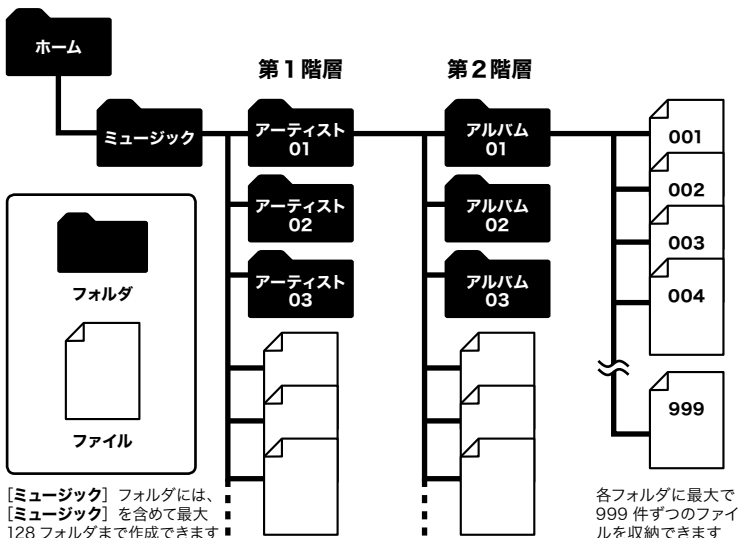
① ② ③

① **ユーザー ID：**
本機に設定されたユーザー ID 名で、お使いのモデル名になります。
ユーザー ID は Olympus Sonority で変更できます。

② **ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続してつけられます。

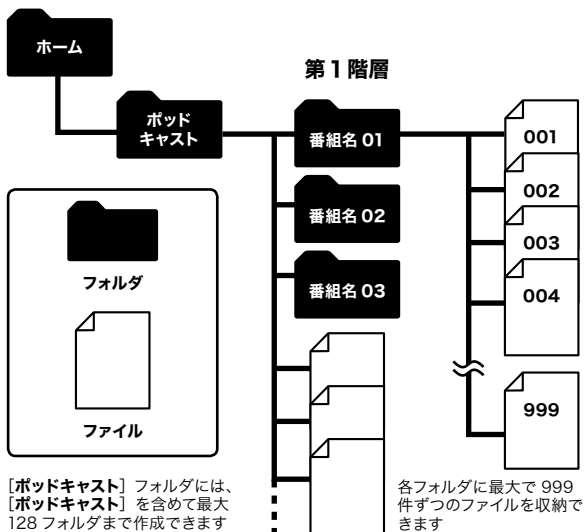
③ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式　.WAV
- MP3 形式　.MP3
- WMA 形式　.WMA になります。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使って音楽ファイルを本機に転送すると、[**ミュージック**] フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。
同じフォルダ内にある音楽ファイルは、お好みの順番に並び替えて再生できます (☞ P.56)。

ポッドキャスト再生用フォルダについて

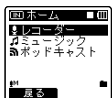
[**ホーム**] フォルダ内にはポッドキャスト配信 (☞ P.153) されたファイルが保存される [**ポッドキャスト**] フォルダがあらかじめ用意されています。Olympus Sonority から本機に転送した番組 (ファイル) を聴くことができます。
本機の停止中に [**ポッドキャスト**] ボタンを 1 秒以上押すと、[**ホーム**] フォルダ内に用意されている [**ポッドキャスト**] フォルダが開きます。フォルダ内に記録されているファイルとフォルダがリスト表示されます。「ポッドキャスト」については ☞ P.153 をご覧ください。

[**ポッドキャスト**] フォルダには、[**ポッドキャスト**] を含めて最大 128 フォルダまで作成できます

各フォルダに最大で 999 件ずつのファイルを収納できます

フォルダとファイルの選択について

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については［**フォルダについて**］をご覧ください (☞ P.25 〜 P.27)。

音声録音用フォルダの操作：

ホームフォルダ表示画面

フォルダリスト表示画面

ファイルリスト表示画面

ファイル表示画面

音楽／コンテンツ用フォルダの操作：

ホームフォルダ表示画面

フォルダリスト表示画面（第1階層）

フォルダリスト表示画面（第 2 階層）

ファイルリスト表示画面

ファイル表示画面

階層を移動する

リストボタン

戻る

押すごとに1つ上の階層に戻ります。
リスト表示画面では、⏮ ボタンでも操作できます。
フォルダの階層を移動しているときに、**リスト**ボタンを押し続けると、ファイル表示画面に戻ります。

OK ボタン

進む

押すごとにリスト表示画面で選択したフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。
リスト表示画面では、⏭ ボタンでも操作できます。

+ または – ボタン

フォルダやファイルを選びます。

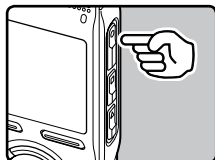
ファイル表示画面
選択したファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

リスト表示画面
本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

録音する

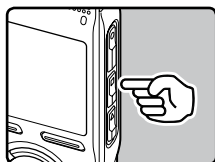
録音を始める前に［**レコーダー**］フォルダ内の［A］～［E］の音声録音用フォルダを選んでください。［A］フォルダはプライベート用、［B］フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

1 録音するフォルダを選ぶ（☞ P.25 ～ P.28）

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダを選びます。
新しく録音した音声は、選択したフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

2 録音 ● ボタンを押して、録音を開始する

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの［●］が点灯します。
- 録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。

ⓐ 録音モード
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ 録音経過時間
ⓓ 録音可能な残り時間
ⓔ レベルメータ（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

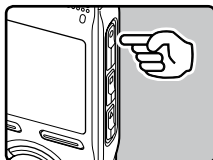
- 録音中は、［**録音モード**］の変更ができません。停止中に設定してください（☞ P.67）。

3 停止 ■ ボタンを押して、録音を止める

- ディスプレイの［■］が点灯します。

ⓕ ファイルの長さ

ご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（DS-750のみ）（☞ P.107）。
- ［A］～［E］以外のフォルダを選んで**録音** ● ボタンを押すと、［**A ～ E フォルダで録音してください**］が点滅します。改めて［A］～［E］のいずれかのフォルダを選んでから録音を始めてください。
- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、録音表示ランプが点滅を始め、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.46）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.46）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.114）。

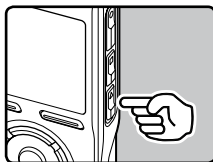
一時停止するには

録音中に録音 ● ボタンを押す

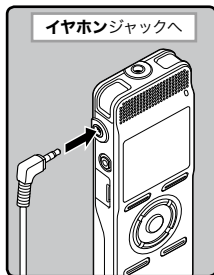
- ディスプレイの［❚❚］が点灯します。
- 録音一時停止のまま2時間以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

録音 ● ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に再生 ▶ ボタンを押す

- ディスプレイの［▶］が点灯します。
- 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の**イヤホン**ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は **+** または **−** ボタンを使って調節できます。

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。

ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

録音状況ごとの推奨設定

ご購入後すぐに高音質ステレオ録音ができるように［**ステレオ XQ**］モードが設定されています。録音状況に応じて、録音モードに関する各種機能を詳細に設定することもできます。下記の表は録音環境を例にした録音設定の目安です。

録音状況	推奨設定			
	［**録音モード**］（☞ P.67）	［**マイク感度**］（☞ P.66）	［**ローカットフィルタ**］（☞ P.73）	［**指向性マイク**］（☞ P.71）
大人数での会議、広い教室での録音	［**PCM**］:［**44.1kHz**］ ［**ステレオ XQ**］ ［**MP3**］:［**320kbps**］	［**高**］	［**ON**］	［**WIDE**］
少人数での会議、打ち合わせ、商談などの録音	［**ステレオ XQ**］ ［**ステレオ HQ**］ ［**MP3**］:［**256kbps**］ ［**MP3**］:［**192kbps**］	［**中**］		［**WIDE**］
ノイズが多い中での口述録音	［**HQ**］	［**低**］		［**OFF**］
楽器演奏、野鳥の声、鉄道の音などの録音	［**PCM**］:［**48kHz**］ ［**PCM**］:［**44.1kHz**］	録音する状況に合わせて、マイク感度を設定してください	［**OFF**］	［**OFF**］
静かな環境での口述録音	どのような設定でもお使いいただけます お好みの設定で録音してください			

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。お使いになる機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

外部マイクで録音する

本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する

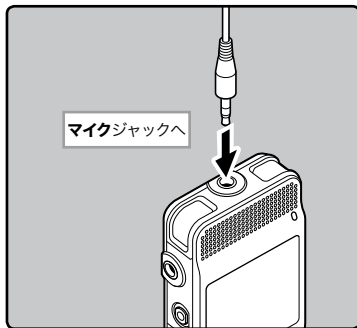
ご使用いただける外部マイク（別売）

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性ガンマイク。金属切削ボディの採用により､高い本体剛性を実現しました。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

モノラルテレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

ご注意

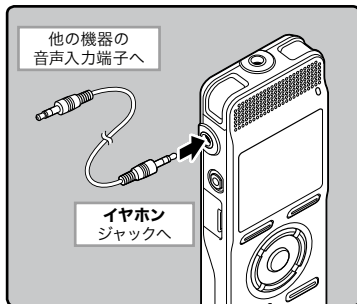
- 本機と他の機器の接続は別売のダビング用コネクティングコード（KA333）で行ってください。
- 本機では細かい入力レベルの調節はできません。外部機器を接続するときは試し録音をして、外部機器の出力レベルを調節してください。
- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音モード**］をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.67）。

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

ご注意

- 本機で録音レベルの調整（☞ P.69）をしてもきれいに録音できない場合、接続した外部機器の出力レベルの過多／過少が考えられます。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.83、P.84、P.85）。

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

1 再生するファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.25 ～ P.28）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中または再生中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

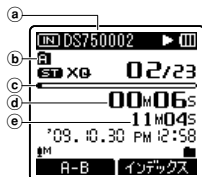
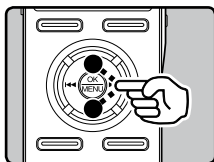
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **–** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または ▶▶I ボタンを押します。

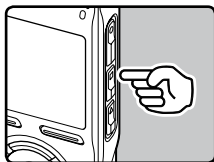
2 ファイルリスト表示画面で + または – ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

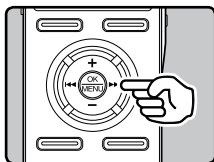
3 再生 ▶ または OK ボタンを押して、再生を開始する

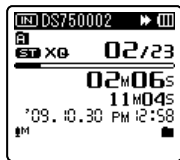
- ディスプレイの［▶］が点灯します。

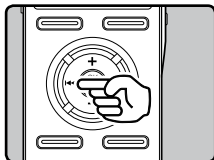
ⓐ ファイル名
ⓑ フォルダ表示
ⓒ 再生位置バー表示
ⓓ 再生経過時間
ⓔ ファイルの長さ

4 + または − ボタンを押して、聞きやすい音量にする

- ［00］～［30］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

5 停止 ■ ボタンを押して再生を停止する

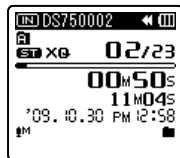
- ディスプレイの［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには

ファイル表示画面で停止中に、▶▶I ボタンを押し続ける

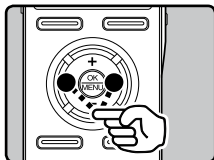
- ディスプレイの［▶▶］が点灯します。
- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。**再生** ▶ または **OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.42）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

ファイル表示画面で停止中に、I◀◀ ボタンを押し続ける

- ディスプレイの［◀◀］が点灯します。
- I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。**再生** ▶ または **OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (☞ P.42)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す

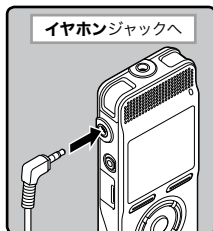
- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

- 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークやテンプマークの位置は飛び越されます（☞ P.42)。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します (☞ P.90)。

イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

再生に関する設定

［**部分リピート**］（☞ P.44）	再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。
［**並び替え**］（☞ P.56）	選択中のフォルダ内のファイルを並び替えます。通常の再生モードで好きな順番で再生する場合などに便利です。
［**ノイズキャンセル**］（☞ P.83）	録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。
［**EUPHONY**］（☞ P.84）	EUPHONY 設定はお好みに合わせ、4 段階（［**POWER**］、［**WIDE**］、［**NATURAL**］、［**OFF**］）にレベル調整できます。
［**音声フィルタ**］（☞ P.85）	再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。
［**再生モード**］（☞ P.86）	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
［**再生スピード**］（☞ P.88）	会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。
［**スキップ間隔**］（☞ P.90）	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。
［**アラーム再生**］（☞ P.92）	設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。
［**再生シーン**］（☞ P.96）	音質や再生方法にあわせて、お好みの再生設定を保存しておくことができます。
［**イントロ再生**］（☞ P.106）	ファイルの先頭の数秒間を流すことができます。お探しのファイルを再生するときに便利です。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビット数、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

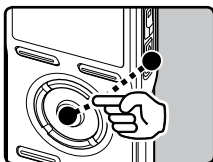
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48kHz	16 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**： 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

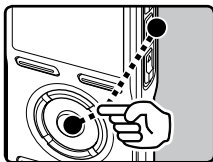
ご注意

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。そのほかの WAV ファイルは再生できません。
- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

ブックマークモードについて

本機に転送した［**ポッドキャスト**］フォルダにあるコンテンツファイルに、最後に再生を停止した位置を［**プレイバックポジション**］として自動的に記憶するブックマークモードを搭載しています。お聞きのファイルの途中で本機を停止しても、最後の停止位置をファイル上で記憶するため、次に続けて聞くときは、最後に停止した位置から再生することができます。

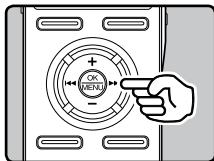
1 ［ポッドキャスト］フォルダ内から聞きたいコンテンツを選ぶ

2 再生 ▶ または OK ボタンを押して再生を開始する

- ディスプレイの［▶］が点灯します。
  前に一度再生したことのあるファイルを再生すると、最後に停止した位置から再生します。

3 停止 ■ または OK ボタンを押して再生を停止する

- 再生していたファイルの途中で停止します。停止した位置を［**プレイバックポジション**］としてファイル上で記憶します。この状態で別のファイルを選んだり、他のフォルダに移動したり、本機の電源を切ったりした場合でも、次に同じファイルを再生すると最後に記憶されている位置から再生を開始します。

4 途中まで聞いたコンテンツファイルの続きを再生する

- 再生 ▶ または **OK** ボタンを押すと、停止していた位置から再生を開始します。

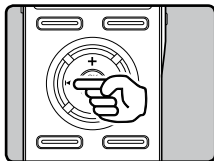
早送りをするには

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと停止しますが、［**プレイバックポジション**］は更新されません。**再生** ▶ または **OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

・ ファイルの途中にテンプマーク（☞ P.42）や［**プレイバックポジション**］がついているときは、その位置でいったん停止します。

・ ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと停止しますが、［**プレイバックポジション**］は更新されません。**再生** ▶ または **OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

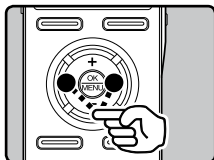
再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

➥ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

・ ファイルの途中にテンプマーク（☞ P.42）や［**プレイバックポジション**］がついているときは、その位置でいったん停止します。

・ ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

・ 先頭ファイルの開始位置で停止中に I◀◀ ボタンを押し続けると、最終ファイルの終わりから早戻しを行います。

ファイルの頭出しをするには

再生中、遅聞き、早聞き中に ▶▶I ボタンを押す。

➥ 次のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを押す。

➥ 再生中のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

再生中、遅聞き、早聞き中に I◀◀ ボタンを２回押す。

➥1 つ前のファイルの頭出しをして、頭出し前の再生スピードで再生を始めます。

・ ファイルの途中にテンプマーク（☞ P.42）がついているときは、その位置から再生します。

・ スキップ間隔がファイルスキップ以外に設定されている場合（☞ P.90）、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

ファイルをスキップするには

停止中に ▶▶I ボタンを押す。

➥ 次のファイルの［**プレイバックポジション**］へスキップします。

ファイルの先頭で停止中に I◀◀ ボタンを押す。

➥ 前のファイルの［**プレイバックポジション**］へスキップします。

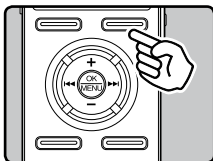
ファイルの途中で停止中に I◀◀ ボタンを押す。

➥ そのファイルの先頭へスキップします。

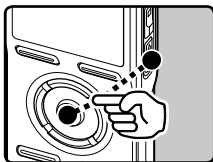
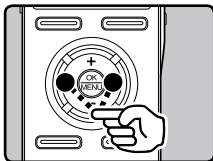
ご注意

- ブックマークモードは［**ポッドキャスト**］フォルダ内のファイルに対応します。
- ファイルを本機で削除した場合は、［**プレイバックポジション**］情報も同時に削除されます。
- ［**プレイバックポジション**］情報の管理ファイルがファイルごとに作成されます。

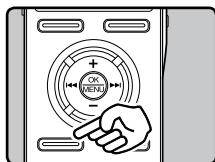
インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探すことができます。MP3 ファイルやオリンパス製 IC レコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

1 ファイルを録音中、録音一時停止中、再生中または停止中に F2 ボタンを押す

- ディスプレイに番号が表示されインデックスマークまたはテンプマークがつきます。
- インデックス・テンプマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックス・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 消去したいインデックスまたはテンプマークのあるファイルを再生する

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して、消去したいインデックスマークまたはテンプマークを選ぶ

3

インデックスマーク・テンプマークをつける

3 **ディスプレイにインデックス番号またはテンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に消去ボタンを押す**

- インデックスマークまたはテンプマークが消去されます。
- 消去したインデックス・テンプマーク以降のインデックス・テンプ番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングですので、ファイルをパソコンに転送、もしくはパソコンで移動すると自動的に消去されます。
- インデックスやテンプマークは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ［**ファイルロック**］（☞ P.54）をかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。
- インデックスやテンプマークをつけると、ファイルごとに管理ファイルが作られます。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

1 部分リピートしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.25 ～ P.28）

フォルダの切り替えかた：

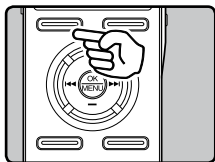
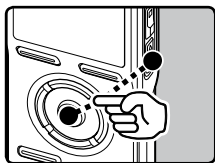
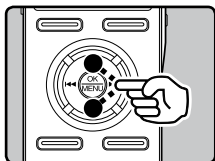
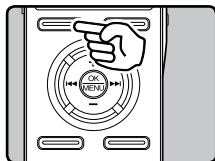
① 停止中または再生中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **+** または **−** ボタンを押して、ファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して、ファイルを選んでください。

3 再生▶ または OK ボタンを押して、再生を開始する

4 部分リピート再生の開始位置で、F1 ボタンを押す

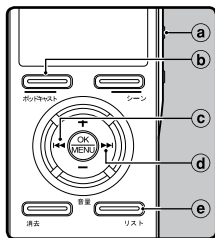
- ディスプレイの［A］が点滅します。
- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.88）や、早送り・早戻し（☞ P.35、P.36）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

5 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 F1 ボタンを押す

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

ご注意

- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードをかえることができます(☞ P.88)。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去（☞ P.42）をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります。

部分リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止 ■ ボタンを押す**
➥ 部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓑ **F1 ボタンを押す**
➥ 部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ⓒ **⏮ ボタンを押す**
➥ 部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓓ **⏭ ボタンを押す**
➥ 部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓔ **リストボタンを押す**
➥ 部分リピート再生が解除され、ファイルのリスト表示画面になります。

消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

1 消去したいファイルまたはフォルダを選ぶ (☞ P.25 ～ P.28)

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が１つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**＋** または **－** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または ▶▶I ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **＋** または **－** ボタンを押して、削除したいファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

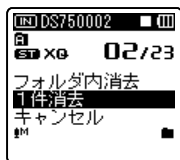
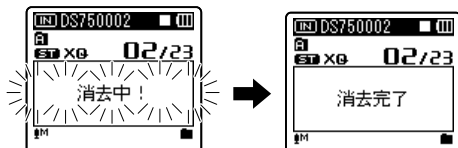
3 停止中に**消去**ボタンを押す

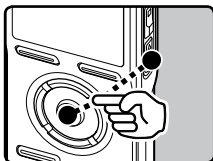
4 **＋** または **－** ボタンを押して、［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選ぶ

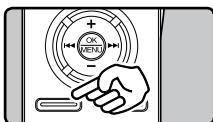
5 OK ボタンを押す

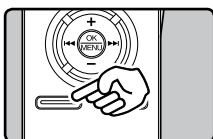
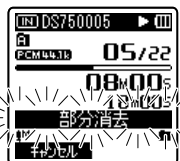
6 **＋** ボタンを押して、［**開始**］を選ぶ

7 OK ボタンを押す

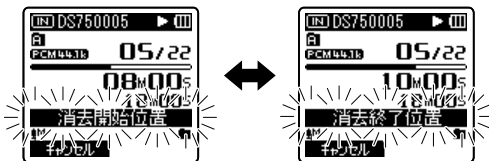
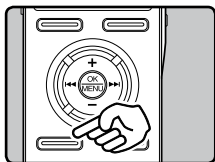
- ディスプレイが［**消去中！**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

ファイルを部分消去する

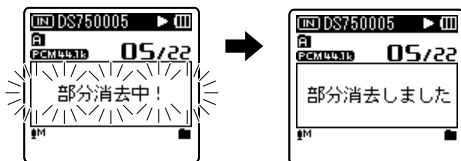
本機で録音した PCM ファイルのみファイルの部分消去が可能です。

1 部分消去したいファイルを再生する

- 消去したい位置までファイルを進めます。
  ファイルが長い場合は、▶▶I ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

2 部分消去の開始位置で、**消去**ボタンを押す

- ディスプレイの［**部分消去**］が点滅します。

3 部分消去を終了したい位置で、もう一度**消去** ボタンを押す

- ディスプレイの［**消去開始位置**］と［**消去終了位置**］が交互に点滅します。
- もう一度**消去**ボタンを押す前の［**部分消去**］の点滅中も再生は続き、通常の再生中と同じように早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。表示の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合は、そこが消去終了位置になります。

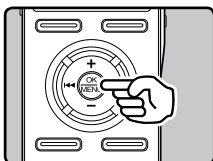
3
消去する

4 もう一度**消去**ボタンを押して部分消去を開始する

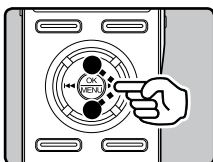
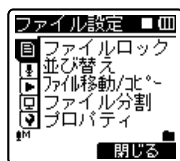
- ディスプレイが［**部分消去中！**］にかわり、部分消去を開始します。［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。
- 部分消去完了位置で再生が停止します。
- 手順３の操作後、８秒以内に**消去**ボタンを押して消去を開始しないと、部分消去を中止し停止状態に戻ります。

ご注意

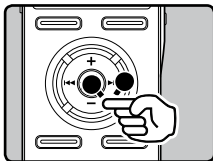
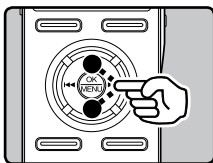
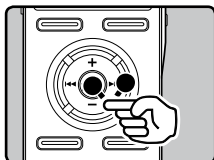
- WMA 形式や MP3 形式で録音されたファイルは部分消去機能が使えません。
- 部分消去を行なうと、本機で表示される録音日時が変わります（ファイルの作成日時は変わりません）。部分消去を行なった後に、パソコンを使ってファイルのコピーおよび追加をした場合、ファイルの順序が入れ替わって表示される場合があります。ファイルの作成日時を確認する場合は、本機とパソコンを接続すればパソコンの画面で確認できます。
- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。本機に microSD カードを入れた場合（DS-750 のみ）、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.107）。
- ［**ファイルロック**］（☞ P.54）がかかっているファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません。
- 選択画面で８秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 本機で認識できないファイルがある場合は、そのファイルは消去できません。パソコンに接続して消去してください。
- データが破損する恐れがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、２本とも新しい電池に交換してください。
  ① 処理中に電源を切る。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**microSD カード**］の場合､処理中にカードを取り外す（DS-750 のみ）。

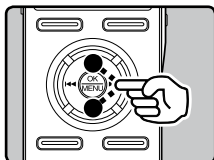
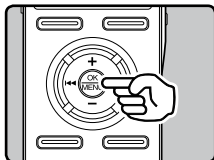
  これらの操作をすると、データが破損する恐れがあります。
- 本機ではフォルダを削除することはできません。[**レコーダー**] フォルダ（A ～ E）および [**ミュージック**]、[**ポッドキャスト**] フォルダは消去できません。

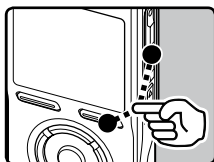
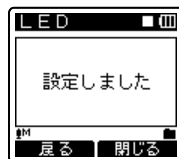
メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

1 録音中、再生中または停止中に MENU ボタンを1秒以上押す

- メニュー画面に入ります。
- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください(☞ P.51、P.52)。

2 + または − ボタンを押して、設定したい項目のあるタブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

4 + または − ボタンを押して、設定項目を選ぶ

5 OK または ▶▶I ボタンを押す

- 選択した項目の設定に移動します。

6 + または – ボタンを押して、設定を変更する

7 OK ボタンを押して、設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- **OK** ボタンを押さずに **F1** または I◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1 つ前の画面に戻ります。

8 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、**F2** ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 設定中に 3 分間何も操作しないと、停止状態に戻ります。この場合、選択途中の項目は設定されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
ファイル設定 (File Menu)	**ファイルロック** (File Lock) ☞ P.54	[**ON**] [**OFF**]
	並び替え (Replace) ☞ P.56	フォルダ内のファイルを並び換えて再生順序を変更できます
	ファイル移動 / コピー (File Move/ Copy) (DS-750 のみ) ☞ P.58	[**本体内へ移動**] [**本体内へコピー**] [**microSD へ移動**] [**microSD へコピー**]
	ファイル分割 (File Divide) ☞ P.61	オリンパス製 IC レコーダーで録音した PCM ファイルのみファイル分割が可能です。
	プロパティ (Property) ☞ P.62	ファイルを選んだ場合： [**名前**] [**日時**] [**サイズ**] [**ビットレート**] [**アーティスト**] [**アルバム**] フォルダを選んだ場合： [**名前**] [**フォルダ数**] [**ファイル数**]

■ 録音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 (Rec Mode)	**マイク感度** (Mic Sense) ☞ P.66	[**高**] [**中**] [**低**]
	録音モード (Rec Mode) ☞ P.67	[**PCM**] [**MP3**] [**WMA**] 録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	録音レベル (Rec Level) ☞ P.69	[**マニュアル**] [**オート**]
	指向性マイク (Zoom Mic) ☞ P.71	[**ZOOM**] [**NARROW**] [**WIDE**] [**OFF**]
	ローカットフィルタ (Low Cut Filter) ☞ P.73	[**ON**] [**OFF**]
	VCVA (VCVA) ☞ P.74	[**ON／OFF**]：[**ON**] [**OFF**] [**待機モニター**]：[**ON**] [**OFF**]
	タイマー録音 (Timer Rec) ☞ P.77	[**予約 1**] から [**予約 3**] に [**タイマー録音**] の [**ON/OFF**] や、[**曜日**]、[**時刻**]、[**録音モード**]、[**録音フォルダ**]、[**マイク感度**] の設定ができます。
	録音シーン (Rec Scene) ☞ P.81	[**OFF**] [**口述録音**] [**会議録音**] [**講義録音**] [**ユーザー設定 1**] ～ [**ユーザー設定 3**] から選べます。

■ 再生に関するメニュー設定：[レコーダー] モードの場合

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 (Play Menu)	**ノイズキャンセル** (Noise Cancel) ☞ P.83	[**HIGH**] [**LOW**] [**OFF**]
	EUPHONY (EUPHONY) ☞ P.84	[**POWER**] [**WIDE**] [**NATURAL**] [**OFF**]
	音声フィルタ (Voice Filter) ☞ P.85	[**ON**] [**OFF**]
	再生モード (Play Mode) ☞ P.86	[**再生範囲**] :[**ファイル**] [**フォルダ**] [**全ファイル**] [**リピート**] :[**ON**] [**OFF**] [**ランダム**] :[**ON**] [**OFF**]
	再生スピード (Play Speed) ☞ P.88	[**遅聞き再生**]: [**0.50 倍速**] から [**0.95 倍速**] 初期設定は [**0.75 倍速**] [**早聞き再生**]: [**1.05 倍速**] から [**2.00 倍速**] 初期設定は [**1.50 倍速**]
	スキップ間隔 (Skip Space) ☞ P.90	[**スキップ**]: [**ファイルスキップ**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**5 分**] [**10 分**] [**逆スキップ**]: [**ファイルスキップ**] [**1 秒**] ～ [**5 秒**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**5 分**] [**10 分**]
	アラーム再生 (Alarm) ☞ P.92	[**予約 1**] ～ [**予約 3**] に [**アラーム再生**] の [**ON/OFF**] や、[**曜日**]、[**開始時刻**]、[**音量**]、[**アラーム**]、[**再生ファイル**] の設定ができます。
	再生シーン (Play Scene) ☞ P.96	[**OFF**] [**ユーザー設定 1**] ～ [**ユーザー設定 5**] から選べます。

■ 録音中のメニュー設定：

設定項目
マイク感度、録音レベル、指向性マイク、ローカットフィルタ、VCVA、バックライト、LED
選択肢
メニュー項目の選択肢へ

■ 再生中のメニュー設定：

設定項目
プロパティ、ノイズキャンセル、EUPHONY、音声フィルタ、再生モード、再生スピード、スキップ間隔、バックライト、LED
選択肢
メニュー項目の選択肢へ

■ ディスプレイや音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
表示／音設定 (LCD/Sound Menu)	**バックライト** (Backlight) ☞ P.98	[点灯時間]： [OFF] [5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分] [輝度設定]： [HIGH] [LOW]
	コントラスト (Contrast) ☞ P.100	[01] 〜 [06] 〜 [12]
	LED (LED) ☞ P.101	[ON] [OFF]
	ビープ音 (Beep) ☞ P.102	[音量 3] [音量 2] [音量1] [OFF]
	言語選択(Lang)(Language(Lang)) ☞ P.103	[日本語] [English]
	音声ガイド (Voice Guide) ☞ P.104	[ON/OFF]： [ON] [OFF] [スピード]： [スピード 5] [スピード 4] [スピード 3] [スピード 2] [スピード 1] [音量]： [音量 5] [音量 4] [音量 3] [音量 2] [音量 1]
	イントロ再生 (Intro Play) ☞ P.106	[10 秒] [5 秒] [3 秒] [OFF]

■ 本機に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
本体設定 (Device Menu)	**メモリ選択** (Memory Select) (DS-750 のみ) ☞ P.107	[内蔵メモリ] [microSD カード]
	スリープ (Power Save) ☞ P.108	[5分] [10分] [30分] [1時間] [OFF]
	フォルダ名 (Folder Name) ☞ P.109	あらかじめ用意したテンプレートの中からフォルダ名を選んで設定できます。
	時計設定 (Time & Date) ☞ P.21	[時] [分] [年] [月] [日]
	USB 設定(USB Settings) ☞ P.110	[USB 接続]： [PC 接続] [AC アダプタ接続] [毎回確認] [USB クラス]： [ストレージ] [コンポジット]
	設定リセット (Reset Settings) ☞ P.112	メニュー設定を初期設定に戻します
	初期化 (Format) ☞ P.114	メモリを初期化します
	メモリ情報 (Memory Info.) ☞ P.116	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 (System Info.) ☞ P.117	[モデル] [バージョン] [シリアル番号]

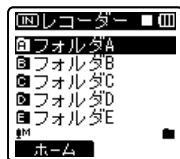
誤消去を防止する［File Lock］

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.46）。

1 ファイルロックをかけたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.25 ～ P.28）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

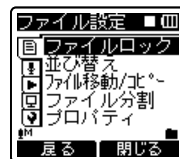
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **–** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または ▶▶I ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で + または – ボタンを押して、ファイルロックしたいファイルを選ぶ

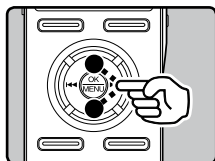
- ファイル表示画面では ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

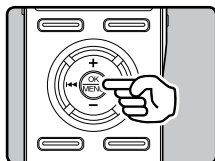
3 停止中に MENU ボタンを1秒以上押す

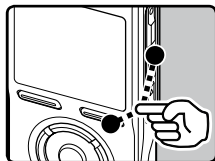
- メニュー画面に入ります（☞ P.49）。

4 OK または ▶▶I ボタンを押す

- ［**ファイルロック**］画面に入ります。

4

誤消去を防止する

5 ＋または－ボタンを押して、設定を変更する

- ［**ON**］：ファイルロックがかかります。
- ［**OFF**］：ファイルロックが解除されます。

6 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

7 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ファイルロック表示

ファイルリスト表示画面

ファイル表示画面

4

誤消去を防止する

曲順の並び替えをする［Replace］

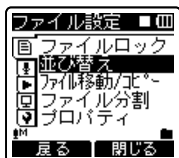
フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選択しておきます。
付属の Olympus Sonority を使って曲順の並び替えを行うこともできます。

1 曲順を入れ替えたいフォルダを選ぶ(☞ P.25 〜 P.28)

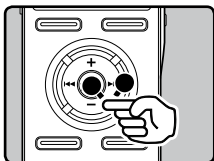
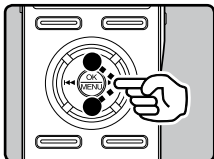
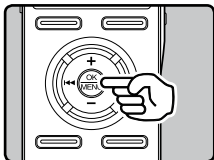
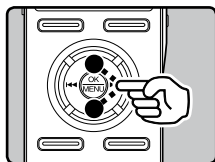
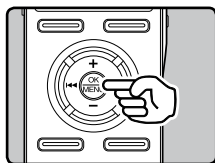
フォルダの切り替えかた：

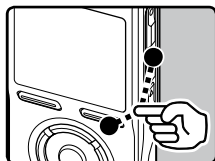
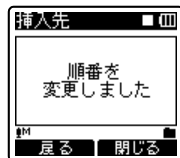
① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 メニューの［ファイル設定］で［並び替え］を選ぶ

- ［**並び替え**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。
- 手順 1 で選んだフォルダ内のファイルがリスト表示されます。

3 + または − ボタンを押して、移動したいファイルを選ぶ

4 OK または ▶▶I ボタンを押す

- カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。
- F1 または I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

5 **＋ または － ボタンを押して、移動したい場所を選ぶ**

6 **OK ボタンを押して、移動を完了する**

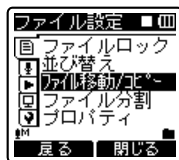
- 引き続き並び替えたいファイルがある場合、再度手順3～手順6の操作を行ってください。
- **OK** ボタンを押さずに **⏮** ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

7 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

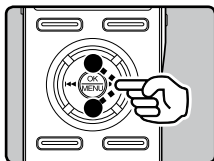
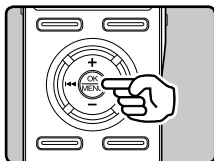
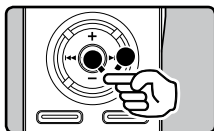
ファイルを移動／コピーする［File Move/Copy］(DS-750 のみ)

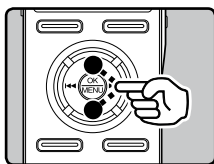
内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。またメモリ間のファイル移動またはコピーも可能です。

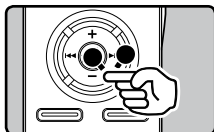
1 あらかじめ移動またはコピーをしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ

2 メニューの［ファイル設定］で［ファイル移動／コピー］を選ぶ

- ［**ファイル移動／コピー**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

3 ＋またはーボタンを押して、ファイルの移動またはコピー先メモリを選ぶ

- ［**本体内へ移動**］：内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。
- ［**本体内へコピー**］：内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。
- ［**microSD へ移動**］：内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。
- ［**microSD へコピー**］：内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

4 OK または ▶▶I ボタンを押す

- [**移動選択**]画面に入ります。

5 + または − ボタンを押して、ファイルの移動件数またはコピー件数を選ぶ

- [**1 件**]: 指定した 1 件のみ選択。
- [**選択**]: 複数のファイルを選択。
- [**全件**]: フォルダ内のファイルを全て選択。

6 OK または ▶▶I ボタンを押して、それぞれの設定に移る

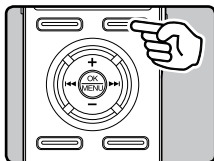
[1 件] を選んだ場合:

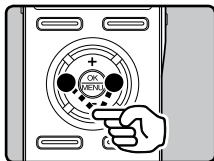
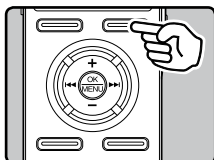
① + または − ボタンを押して、移動またはコピーさせたいファイルを選ぶ。
② **OK** ボタンを押して、ファイル選択する。手順 8 の操作へお進みください。

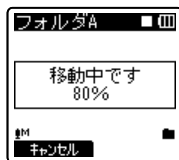
[選択] を選んだ場合:

① + または − ボタンを押して、移動またはコピーさせたいファイルを選ぶ。
② **OK** または ▶▶I ボタンを押して、選択したファイルにチェックをつける。

[全件] を選んだ場合:

全件を選択すると、自動的に現在のフォルダ内の全てのファイルを選択し、[**移動先フォルダ**]画面に移行します。手順 8 の操作へお進みください。

7 F2 ボタンを押す

- [**移動先フォルダ**]画面に移行します。

8 ▶▶I、I◀◀ または +、− ボタンを押して、ファイルの移動またはコピー先のフォルダを選ぶ

9 F2 ボタンを押す

- ディスプレイに[**移動中です**]または[**コピー中です**]が表示され、移動またはコピーを開始します。その間は進行状況をパーセンテージで表示します。
[**移動しました**]または[**コピーしました**]と表示されたら終了です。

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が999件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- [**ファイルロック**](☞ P.54)のかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
- DRMが施されているファイルの移動またはコピーはできません。
- [**レコーダー**]フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。

ファイルの分割をする［File Divide］

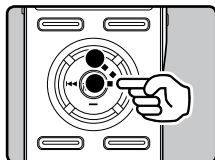
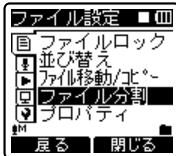
本機で録音した PCM ファイルを分割することができます。
容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。

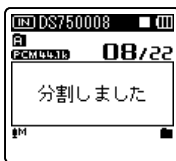
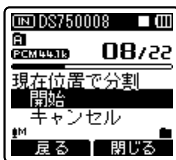
1 あらかじめファイル分割したい PCM 形式のファイルを選び、ファイルを再生または早送りし、分割したい位置で停止させる

- 録音モードが［**PCM48k**］［**PCM44.1k**］となっているファイルが PCM 形式で録音されたファイルです。

ⓐ 録音モード表示

2 ファイル表示画面を表示させた状態で、メニューの［**ファイル設定**］で［**ファイル分割**］を選ぶ

- ［**ファイル分割**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。
- ディスプレイに［**現在位置で分割**］が表示されます。

3 **+** ボタンを押して、［**開始**］を選び、OK ボタンを押す

- ディスプレイが［**分割中 !**］にかわり、ファイル分割を開始します。［**分割しました**］と表示されたら終了です。

ご注意

- ファイル表示画面以外からは［**ファイル分割**］はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 998 件以上の場合は分割できません。
- ［**ファイルロック**］（☞ P.54）がかかっているファイルは分割できません。
- 分割後のファイルは、元ファイルは［**ファイル名 _1.WAV**］、新しいファイルは［**ファイル名 _2.WAV**］となります。
- PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損する可能性があります。

ファイルやフォルダの情報を見る［Property］

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

ファイルの情報を見る

1 **情報を表示したいファイルが収録されているフォルダを選ぶ**（☞ P.25 ～ P.28）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**+** または **–** ボタンを押してフォルダを選び、**OK** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 **ファイルリスト表示画面で + または – ボタンを押して、情報を見たいファイルを選ぶ**

- ファイル表示画面では **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して、ファイルを選んでください。

3 **停止中に MENU ボタンを1秒以上押す**

- メニュー画面に入ります（☞ P.49）。

4 **OK または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる**

- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

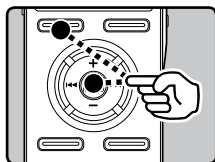
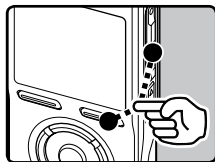
5 **+ または – ボタンを押して、［プロパティ］を選ぶ**

6 OK ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

7 + または - ボタンを押して、画面を切り替える

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］*1［**アーティスト**］*2［**アルバム**］*2 が表示されます。

*1 リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリング周波数やビット数を表示します。
*2 タグ情報がファイルにない場合、［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。

8 情報を確認したら OK または F1 ボタンを押して、［プロパティ］画面から出る

9 F2 または**停止 ■** ボタンを押して、メニュー画面を終了する

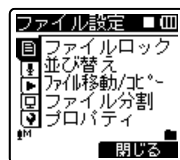
フォルダの情報を見る

1 情報を表示したいフォルダを選ぶ（☞ P.25 ～ P.28）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **–** ボタンを押してフォルダを選びます。

2 **停止中に MENU ボタンを1秒以上押す**

- メニュー画面に入ります（☞ P.49）。

3 **OK または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる**

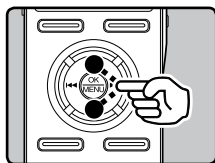
- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

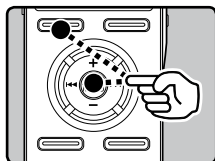
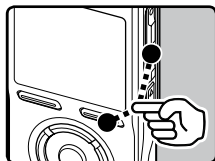
4 **+ または – ボタンを押して、［プロパティ］を選ぶ**

4

ファイルやフォルダの情報を見る

5 OK または ▶▶I ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

6 + または - ボタンを押して、画面を切り替える

- ［**名前**］［**フォルダ数**］［**ファイル数**］が表示されます。
- 音声ファイルの場合、［**フォルダ数**］部は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含みません。

7 情報を確認したら OK または F1 ボタンを押して、［プロパティ］画面から出る

8 F2 または**停止** ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

マイク感度の設定［Mic Sense］

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度を切り替えることができます。

1 メニューの［録音設定］で［マイク感度］を選ぶ

- ［**マイク感度**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して、［高］、［中］または［低］を選ぶ

- ［**高**］：最も録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。
- ［**中**］：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。
- ［**低**］：最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ マイク感度表示

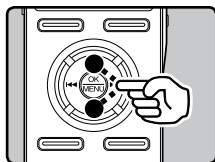
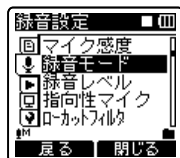
ご注意

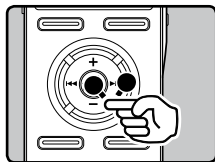
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**マイク感度**］を［**低**］に設定し、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

録音モードの設定［Rec Mode］

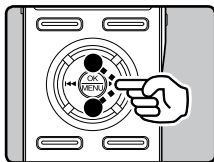
ステレオまたはモノラルの録音方式の選択のほか、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 メニューの［録音設定］で［録音モード］を選ぶ

- ［**録音モード**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋ または − ボタンを押して、［録音モード］を選ぶ

- ［**PCM**］：音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。
- ［**MP3**］：ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。
- ［**WMA**］：米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

3 OK または ▶▶I ボタンを押す

- 録音レート画面に入ります。

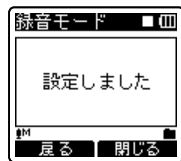
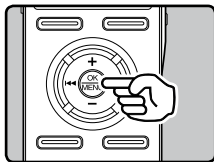
4
録音モードの設定

4 ＋ または − ボタンを押して、録音レートを選ぶ

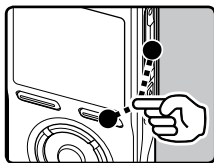
- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。

  ［**PCM**］**の場合：**
  ［**48kHz/16bit**］または［**44.1kHz/16bit**］
  ［**MP3**］**の場合：**
  ［**320kbps**］［**256kbps**］［**192kbps**］［**128kbps**］
  ［**WMA**］**の場合：**
  ［**ステレオ XQ**］［**ステレオHQ**］［**ステレオSP**］［**HQ**］
  ［**SP**］［**LP**］

- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください（☞ P.116）。

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

6 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 録音モード表示

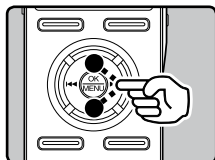
ご注意

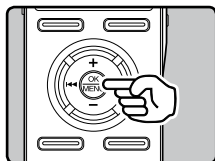
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、録音レートを［**LP**］以外に設定して録音してください。
- ［**録音モード**］をステレオ録音方式に設定して録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

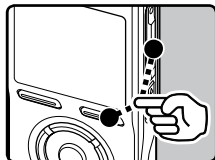
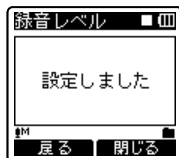
録音レベルの調整を設定する［Rec Level］

録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。

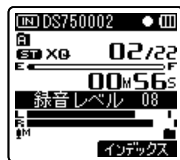
1 メニューの［録音設定］で［録音レベル］を選ぶ

- ［**録音レベル**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋ または － ボタンを押して、［マニュアル］または［オート］を選ぶ

- ［**マニュアル**］：録音レベルを 16 段階に調整して録音します。
- ［**オート**］：録音レベルを自動で調整して録音します。すぐに録音するときに便利です。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

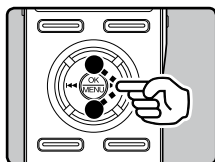
録音レベルを調整する

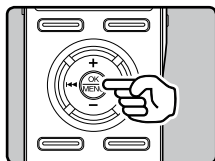
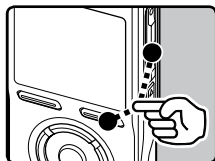
録音中または録音一時停止中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

- ［**録音レベル**］が［**オート**］の場合、［**録音レベル**］は自動的に調整されます。録音レベル調整機能を使用する場合は、［**録音レベル**］は［**マニュアル**］にしてください。
- 録音レベルメーターの指標が右いっぱいに振り切れなくても［**OVER**］が表示されることがあります。
- 本機は［**マニュアル**］に設定するとリミッター機能がありません。［**OVER**］が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。［**OVER**］が表示されないよう［**録音レベル**］を調整してください。
  ［**録音レベル**］を調整しても音の歪みが消えない場合は、［**マイク感度**］（☞ P.66）の設定を変更して、もう一度［**録音レベル**］を調整してください。
- あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**オート**］に設定していてもノイズが発生することがあります。
- ［**01**］〜［**16**］の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

指向性マイク［Zoom Mic］

指向性マイク機能はDiMAGIC（ダイマジック社）のDVM（DiMAGIC Virtual Microphone）技術を使用しています。DVMは任意の方向からの音を強調して録音することが可能な収音システムです。広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つでの切り替えを可能とした、最新の指向性制御方式です。

1 メニューの［録音設定］で［指向性マイク］を選ぶ

- ［**指向性マイク**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細はP.49、P.50をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して、内蔵ステレオマイクの指向性を選ぶ

- ［**ZOOM**］：モノラル録音となりますが、高指向性の録音ができます。
- ［**NARROW**］：指向性のあるステレオ感で録音できます。
- ［**WIDE**］：広がりのあるステレオ感で録音できます。
- ［**OFF**］：指向性マイク機能をOFFにします。

3 OKボタンを押す

- **F1**または**I◀◀**ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

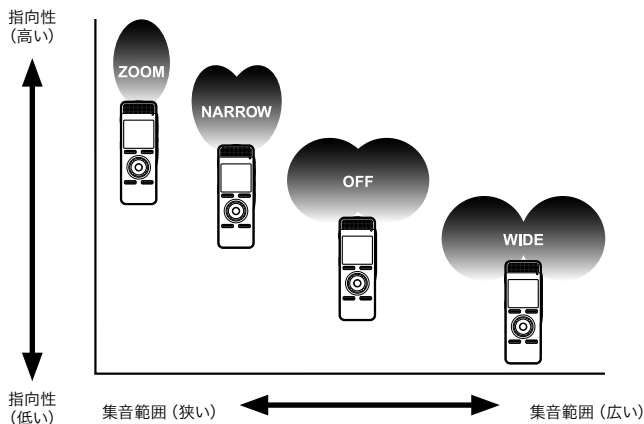
指向性マイク
設定しました
戻る
閉じる

4 F2または停止■ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 指向性マイク表示

4
指向性マイク

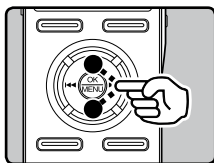
指向性マイク機能について

ご注意

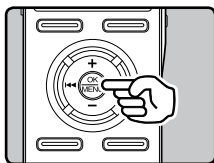
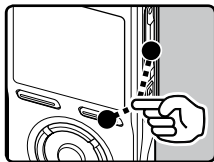
- ［**指向性マイク**］機能は内蔵ステレオマイクでのみ性能がでるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、コネクティングコードを利用している他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。

ローカットフィルタの設定［Low Cut Filter］

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

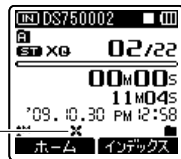
1 メニューの［**録音設定**］で［**ローカットフィルタ**］を選ぶ

- ［**ローカットフィルタ**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ

- ［**ON**］：ローカットフィルタが機能します。
- ［**OFF**］：機能しません。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ローカットフィルタ表示

音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

1 メニューの［録音設定］で［VCVA］を選ぶ

- ［**VCVA**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49 ～ P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して、［ON ／ OFF］を選ぶ

3 OK ボタンを押す

4 + または − ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ

- ［**ON**］：VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます（☞ P.75）。
- ［**OFF**］：機能しません。通常の録音に戻ります。

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

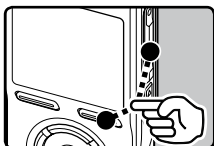
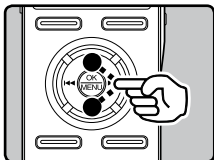
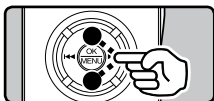
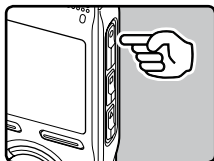
- **F1** または **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

6 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

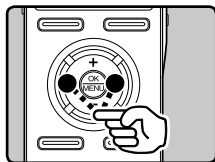
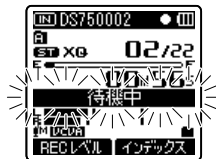
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ VCVA 表示

4

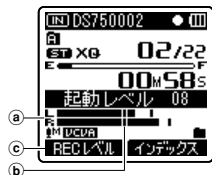
音声起動録音の設定

音声起動レベルの調整

1 **録音● ボタンを押して、録音を開始する**

- VCVA 録音をする場合、［**VCVA**］を［**ON**］に設定します。
- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。

  このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

2 **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する**

- ディスプレイに VCVA の音声起動レベルを 15 段階（［**01**］～［**15**］）で表示します。
- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓐ **レベルメータ（録音音量に合わせて変化します）**
ⓑ **音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）**
ⓒ **音声起動レベル / 録音レベル切り替えボタン（VCVA：［ON］、録音レベル：［マニュアル］設定時のみ表示されます。）**

- VCVA 録音中に録音レベルを変更する場合は、**F1** ボタンを押してください。録音レベルの調整が可能になります（☞ P.69）。

ご注意

- 音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P.66）。
- 音声起動レベルの調節は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整できます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調節することをおすすめします。

VCVA 待機モニター設定について

メニュー設定で［**待機モニター**］を［**ON**］にすると、VCVA 待機中の間は録音モニター（イヤホン出力）が出なくなります。イヤホンを接続して録音をモニターする場合、VCVA の起動状態が音声の出力で確認することができます。

1 **メニューの［録音設定］で［VCVA］を選ぶ**

- ［**VCVA**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+ または − ボタンを押して、［待機モニター］を選ぶ**

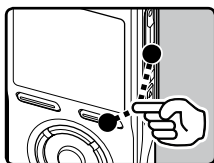
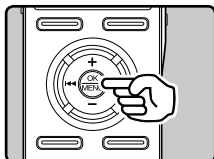
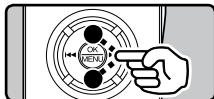
3 **OK ボタンを押す**

- ［**待機モニター**］画面に入ります。

4 **+ または − ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ**

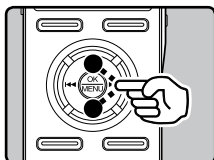
5 **OK ボタンを押して、設定を完了する**

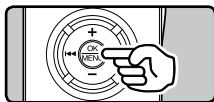
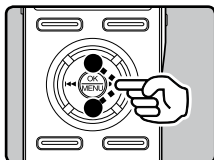
- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

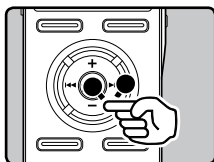
6 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

タイマー録音を使う［Timer Rec］

タイマー録音とは設定した時間に録音を行う機能です。お好みの設定（[**ON／OFF**]、[**曜日**]、[**時刻**]、[**録音モード**]、[**録音フォルダ**]、[**マイク感度**]）を３件（[**予約 1**]～[**予約 3**]）まで登録しておくことができます。

1 メニューの［録音設定］で［タイマー録音］を選ぶ

- ［**タイマー録音**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して、予約番号を選ぶ

- 予約番号にカーソルを合わせて ▶▶I ボタンを押すと、設定されている［**曜日**］と［**時刻**］が表示されます。

3 OK ボタンを押す

4 ＋または－ボタンを押して、設定項目を選ぶ

- ［**ON／OFF**］［**曜日**］［**時刻**］［**録音モード**］［**録音フォルダ**］［**マイク感度**］の中から、設定したい項目を選んでください。
- ［**設定完了**］を選ぶと設定を完了して、手順２の予約番号の選択表示に戻ります。

5 OK または ▶▶I ボタンを押してそれぞれの設定に移る

各設定の手順については、☞ P.78、79 をご覧ください。

4 タイマー録音を使う

［ON ／ OFF］の設定

① **＋**または**ー**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選びます。
- ［**ON**］： 設定内容が実行されます。
- ［**OFF**］： 設定内容は実行されません。

② **OK** ボタンを押して［**ON ／ OFF**］の設定を完了します。

［曜日］の設定

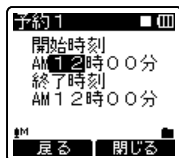
① **＋**または**ー**ボタンを押して［**1 回のみ**］［**毎日**］［**毎週**］を選びます。
- ［**1 回のみ**］： 設定時刻で 1 回のみ録音します。
- ［**毎日**］： 設定時刻で毎日継続して録音します。
- ［**毎週**］： 指定した曜日の設定時刻に録音します。［**毎週**］を選んで **OK** ボタンを押すと［**曜日**］の選択に移ります。**＋**または**ー**ボタンを押して曜日を選んでください。

② **OK** ボタンを押して［**曜日**］の設定を完了します。

［時刻］の設定

① **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して録音の［**開始時刻**］の「時」「分」と［**終了時刻**］の「時」「分」を選びます。

② **＋**または**ー**ボタンを押して設定します。

③ **OK** ボタンを押して［**時刻**］の設定を完了します。

［録音モード］の設定

通常の［**録音モード**］設定 (☞ P.67) とは別に、設定した［**録音モード**］でタイマー録音を開始します。

① **＋**または**ー**ボタンを押して［**録音モード**］を選びます。

② **OK** または **▶▶I** ボタンを押す。

③ **＋**または**ー**ボタンを押して録音レートを選びます。

④ **OK** ボタンを押して録音レートの設定を完了します。

［録音フォルダ］の設定

① **＋**または**－**ボタンを押して保存先（メモリ）を選びます。（DS-750 のみ）
② **OK** または **▶▶I** ボタンを押して［**録音フォルダ**］の設定に移ります。
③ **＋**または**－**ボタンを押して保存先（フォルダ）を選びます。
④ **OK** ボタンを押して［**録音フォルダ**］の設定を完了します。

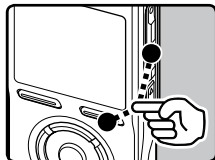
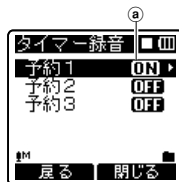
［マイク感度］の設定

本機の［**マイク感度**］設定（☞ P.66）とは別に、設定したマイク感度でタイマー録音を開始します。
① **＋**または**－**ボタンを押して［**高**］［**中**］［**低**］を選びます。
② **OK** ボタンを押して［**マイク感度**］の設定を完了します。

6 設定を完了する

① **＋**または**－**ボタンを押して［**設定完了**］を選びます。
② **OK** ボタンを押して設定を完了します。
- 登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。［**ON／OFF**］設定を［**ON**］にすると、ディスプレイに **ON** が表示されます。

ⓐ［ON］設定時

他の予約番号を設定する場合は、手順 2 〜 6 の操作を繰り返してください。
予約選択メニュー中に **▶▶I** ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

7 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。
ⓑ タイマー表示（［**ON**］設定時）

4 タイマー録音を使う

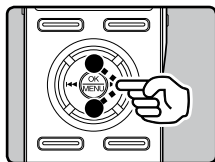
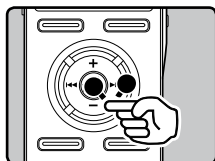
ご注意

- ［**タイマー録音**］の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときは、終了後に［**タイマー録音**］を開始します。
- 電源 OFF やホールドになっていても、［**タイマー録音**］の設定時刻になると録音を始めます。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- ［**タイマー録音**］と［**アラーム再生**］（☞ P.92）の［**開始時刻**］が同時刻に設定されているときは、［**タイマー録音**］が優先されます。
- タイマー録音中に電池がなくなると録音が中断しますので、電池残量を確認してください。
- あらかじめ［**現在日時**］を確認し、ずれていたら本機の日付と時刻を合わせてください（☞ P.21）。
- 保存先を microSD カードに設定し、タイマー録音時に microSD カードが挿入されていない場合は内蔵メモリの［**フォルダ A**］に録音します（DS-750 のみ）。

録音シーンの設定［Rec Scene］

録音する場面や状況にあわせた録音設定を、［**口述録音**］［**会議録音**］［**講義録音**］のテンプレートから選べるほか、お好みの録音設定を保存しておくことができます。

1 メニューの［**録音設定**］で［**録音シーン**］を選ぶ

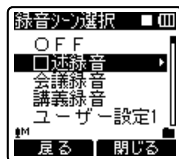
- ［**録音シーン**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+** または **–** ボタンを押して設定項目を選ぶ

3 OK または ▶▶I ボタンを押して設定に移る

［録音シーン選択］を選んだ場合の設定

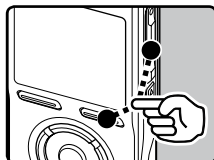
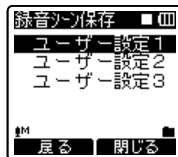
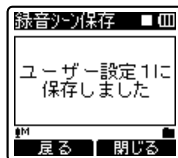
① **+**または**–**ボタンを押して設定したい［**録音シーン**］を選ぶ

② **OK** ボタンを押して設定を完了します。

- 各［**録音シーン**］の設定状況を確認するには、［**録音シーン選択**］画面で、**+** または **-** ボタンで確認したい設定項目を選び、**▶▶I** ボタンを押して、設定確認画面で確認できます。
  設定確認画面を終わるときは、**F1** ボタンを押すと［**録音シーン選択**］画面に戻ります。
- 本機が停止中に **F2** ボタンを 1 秒以上押すと、［**録音シーン選択**］画面になります。

［録音シーン保存］を選んだ場合の設定

既存の［**録音シーン**］のテンプレート以外に、現在お好みで設定をしている録音に関するメニュー設定を保存することができます。

① **＋**または**ー**ボタンを押して、設定を保存したい［**ユーザー設定**］を選ぶ

② **OK** ボタンを押して設定を完了します。

4 F2 または**停止■** ボタンを押して、メニュー画面を終了する

録音シーンの設定テンプレートについて

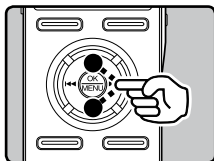
［**録音シーン選択**］では 3 つのテンプレートから録音場面や状況に合わせて録音シーンをお選びいただけます。それぞれの録音シーンの録音設定は以下の通りです。

録音設定	録音シーン			
	［OFF］	［口述］	［会議］	［講義］
［マイク感度］	［中］	［低］	［中］	［高］
［録音モード］	［ステレオ XQ］	［HQ］	［ステレオ XQ］	［ステレオ XQ］
［録音レベル］	［オート］	［オート］	［オート］	［オート］
［指向性マイク］	［OFF］	［OFF］	［WIDE］	［ZOOM］
［ローカットフィルタ］	［OFF］	［ON］	［ON］	［ON］
［VCVA］	［OFF］	［OFF］	［OFF］	［OFF］
［待機モニター］	［OFF］	［OFF］	［OFF］	［OFF］

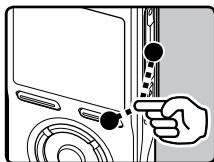
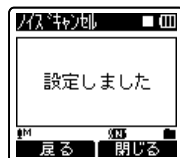
ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］

録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

1 **メニューの［再生設定］で［ノイズキャンセル］を選ぶ**

- ［**ノイズキャンセル**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+ または − ボタンを押して、［HIGH］、［LOW］または［OFF］を選ぶ**

- ［**HIGH**］［**LOW**］：周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。
- ［**OFF**］：機能しません。

3 **OK ボタンを押して、設定を完了する**

設定しました

4 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ノイズキャンセル表示

ご注意

- ［**ノイズキャンセル**］を［**LOW**］または［**HIGH**］に設定したときは、［**音声フィルタ**］（☞ P.85）、［**EUPHONY**］（☞ P.84）および［**再生スピード**］（☞ P.88）は機能しません。この機能を使う場合、［**ノイズキャンセル**］を［**OFF**］にしてください。

臨場感を高める［EUPHONY］

本機は帯域補正、拡張技術と仮想音源処理技術を組み合わせた最新のサラウンド方式「EUPHONY MOBILE」を搭載しています。ヘッドフォン再生において、自然な拡がり感以外に、圧迫感や密閉感などを感じにくくし長時間視聴でも疲れにくいという優れた特徴を備えております。EUPHONY 設定はお好みに合わせ、4 段階（［**POWER**］［**WIDE**］［**NATURAL**］［**OFF**］）にレベル調整できます。

1 メニューの［**再生設定**］で［EUPHONY］を選ぶ

- ［**EUPHONY**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［POWER］、［WIDE］、［NATURAL］または［OFF］を選ぶ

- ［**POWER**］：より低音域を強調したモード。
- ［**WIDE**］：より広がり感のあるモード。
- ［**NATURAL**］：自然な帯域補正と音場の広がりを実現するモード。
- ［**OFF**］：EUPHONY を解除します。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

4 F2 または**停止** ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ EUPHONY 表示

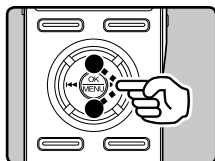
ご注意

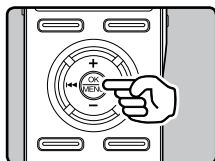
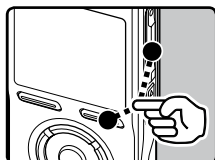
- ［**EUPHONY**］機能を設定中は、［**再生スピード**］（☞ P.88）、［**ノイズキャンセル**］（☞ P.83）および［**音声フィルタ**］（☞ P.85）は機能しません。この機能を使う場合、［**EUPHONY**］機能を［**OFF**］にしてください。

音声フィルタの設定［Voice Filter］

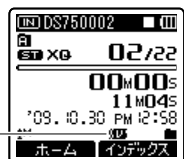
再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 メニューの［再生設定］で［音声フィルタ］を選ぶ

- ［**音声フィルタ**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ

- ［**ON**］：音声フィルタが機能します。
- ［**OFF**］：機能しません。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 音声フィルタ表示

ご注意

- ［**音声フィルタ**］を［**ON**］に設定したときは、［**ノイズキャンセル**］（☞ P.83）および［**EUPHONY**］（☞ P.84）は機能しません。この機能を使う場合、［**音声フィルタ**］を［**OFF**］にしてください。

再生モードを選ぶ［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 メニューの［再生設定］で［再生モード］を選ぶ

- ［**再生モード**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

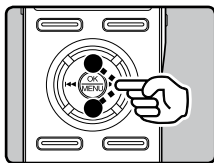
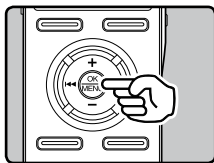
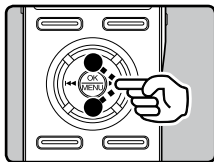
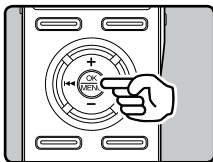
2 + または – ボタンを押して、［再生範囲］、［リピート］または［ランダム］を選ぶ

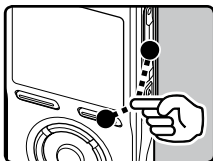
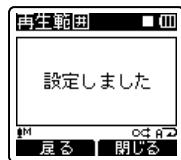
- ［**再生範囲**］：ファイル再生の範囲を指定します。
- ［**リピート**］：リピート再生の設定をする場合に選びます。
- ［**ランダム**］：ランダム再生の設定をする場合に選びます。

3 OK ボタンを押す

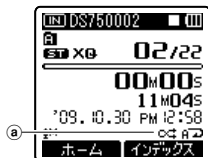
- ［**再生範囲**］、［**リピート**］または［**ランダム**］画面に入ります。

4 + または – ボタンを押して、設定を選ぶ

- **［再生範囲］を選んだ場合**：
  ［**ファイル**］［**フォルダ**］［**全ファイル**］：ファイル再生の範囲を指定します。
- **［リピート］または［ランダム］を選んだ場合**：
  ［**ON**］：再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。
  ［**OFF**］：リピート再生およびランダム再生を解除します。

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

- 他の設定を変更する場合は、手順２から手順５を繰り返してください。
- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

6 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 再生モード表示

ご注意

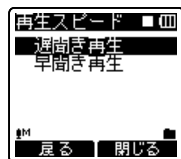
- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し､最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ［**全ファイル**］に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を始めます。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

再生スピードの設定［Play Speed］

再生スピードを［**0.5 倍速**］から［**2 倍速**］の間で変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取ることができます。

1 メニューの［再生設定］から［再生スピード］を選ぶ

- ［**再生スピード**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、［遅聞き再生］または［早聞き再生］を選ぶ

3 OK または ▶▶I ボタンを押す

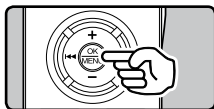
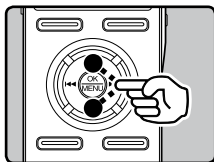
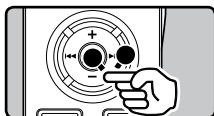
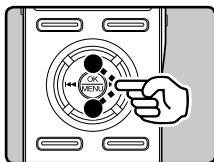
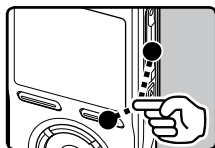
- ［**遅聞き再生**］または［**早聞き再生**］画面に入ります。

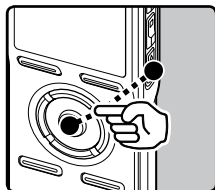
4 + または – ボタンを押して、速度設定を選ぶ

- 遅聞き・早聞き再生時のスピードをそれぞれ設定できます。

［遅聞き再生］を選んだ場合：
［**0.50 倍速**］から［**0.95 倍速**］までの間を［**0.05 倍速**］刻みで速度を選べます。
［早聞き再生］を選んだ場合：
［**1.05 倍速**］から［**2.00 倍速**］までの間を［**0.05 倍速**］刻みで速度を選べます。

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

- 他の設定を変更する場合は、手順 2 から手順 5 を繰り返してください。

6 F2 または**停止■** ボタンを押して、メニュー画面を終了する

遅聞き・早聞き再生のしかた

1 **再生▶** または OK ボタンを押して、再生を開始する

2 **再生▶** ボタンを押して、再生スピードを切り替える

- **再生▶** ボタンを押すたびに再生スピードが切り替わります。
  通常再生：普通の再生スピードです。
  遅聞き再生：再生スピードが遅くなり、ディスプレイの［ ］が点灯します。
  早聞き再生：再生スピードが早くなり、ディスプレイの［ ］が点灯します。

ⓐ 再生スピード表示

- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

ご注意

- 早聞き･遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックス・テンプマーク（☞ P.42）の挿入などの操作ができます。
- ［**音声フィルタ**］（☞ P.85）が設定されていても、早聞き･遅聞き再生は使用できます。
- ［**ノイズキャンセル**］（☞ P.83）または［**EUPHONY**］（☞ P.84）のどちらかが機能している場合、早聞き・遅聞き再生はできません。
- 再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、早聞き再生の速度を落として再生してください。

スキップ間隔の設定［Skip Space］

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生することができる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 メニューの［**再生設定**］で［**スキップ間隔**］を選ぶ

- ［**スキップ間隔**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して、［スキップ］または［逆スキップ］を選ぶ

- ［**スキップ**］：設定した間隔分だけ送って再生を開始します。
- ［**逆スキップ**］：設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

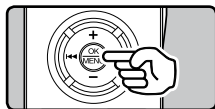
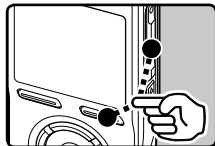
3 OK または ▶▶I ボタンを押す

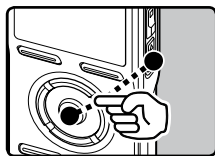
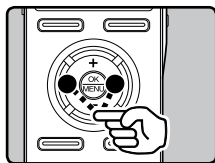
- ［**スキップ**］または［**逆スキップ**］画面に入ります。

4 + または − ボタンを押して、設定を選ぶ

- スキップ間隔をそれぞれ設定できます。

［スキップ］を選んだ場合:
［**ファイルスキップ**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

［逆スキップ］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］［**1 秒**］〜［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

6 F2 または**停止■** ボタンを押して、メニュー画面を終了する

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 **再生▶** または OK ボタンを押して、再生を開始する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔で［**スキップ**］または［**逆スキップ**］して再生を開始します。

ご注意

- ［**スキップ間隔**］より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置に［**スキップ**］・［**逆スキップ**］します。

アラーム再生を使う［Alarm］

アラーム再生とは設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。
お好みの設定（[**ON ／ OFF**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**]）を 3 件（[**予約 1**］～［**予約 3**]）まで登録しておくことができます。

1 メニューの［再生設定］で［アラーム再生］を選ぶ

- ［**アラーム再生**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して、予約番号を選ぶ

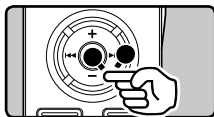
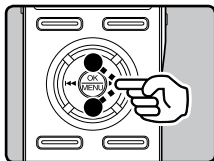
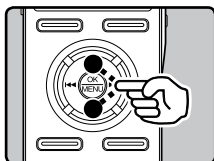
- 予約番号にカーソルを合わせて ▶▶I ボタンを押すと、設定されている［**曜日**］と［**開始時刻**］が表示されます。

3 OK ボタンを押す

4 ＋または－ボタンを押して、設定項目を選ぶ

- ［**ON ／ OFF**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**］の中から、設定したい項目を選んでください。
- ［**設定完了**］を選ぶと設定を完了して、手順 2 の予約番号の選択表示に戻ります。

5 OK または ▶▶I ボタンを押してそれぞれの設定に移る

各設定の手順については、☞ P.93、P.94 をご覧ください。

［ON/OFF］の設定

① **＋**または**ー**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選びます。
- ［**ON**］： 設定内容が実行されます。
- ［**OFF**］： 設定内容は実行されません。

② **OK** ボタンを押して［**ON ／ OFF**］の設定を完了します。

［曜日］の設定

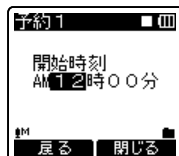
① **＋**または**ー**ボタンを押して［**1 回のみ**］［**毎日**］［**毎週**］を選びます。
- ［**1 回のみ**］: 設定時刻で 1 回のみアラーム再生します。
- ［**毎日**］: 設定時刻で毎日継続してアラーム再生します。
- ［**毎週**］: 指定した曜日の設定時刻にアラーム再生します。［**毎週**］を選んで **OK** または **▶▶I** ボタンを押すと［**曜日**］の選択に移ります。
  ＋または**ー**ボタンを押して「曜日」を選んでください。

② **OK** ボタンを押して［**曜日**］の設定を完了します。

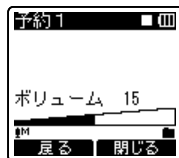
［開始時刻］の設定

① **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押してアラーム再生の［**開始時刻**］の「時」「分」と［**終了時刻**］の「時」「分」を選びます。

② **＋**または**ー**ボタンを押して設定します。

③ **OK** ボタンを押して［**開始時刻**］の設定を完了します。

［音量］の設定

① **＋**または**ー**ボタンを押して音量を調整します。**再生 ▶** ボタンを押すと音量を確認できます。

② **OK** ボタンを押して［**音量**］の設定を完了します。

［アラーム音］の設定

① **＋**または**ー**ボタンを押してアラーム音を［**アラーム 1**］［**アラーム 2**］［**アラーム 3**］から選びます。**再生 ▶** ボタンを押すとアラーム音を確認できます。

② **OK** ボタンを押して［**アラーム音**］の設定を完了します。

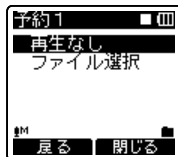
［再生ファイル］の設定

① **+**または**−**ボタンを押して［**再生なし**］［**ファイル選択**］を選びます。

- ［**再生なし**］： 設定内容が実行されます。
- ［**ファイル選択**］： アラーム音の後に設定したファイルを再生します。

- **［ファイル選択］を選んで OK または ▶▶I ボタンを押すと、［メモリ選択］の設定に移ります（DS-750 のみ）。**
  +または**−**ボタンでアラーム再生するファイルのあるメモリを選び、**OK** または **▶▶I** ボタンを押します。アラーム再生するファイルのあるフォルダ設定に移ります（DS-750 のみ）。

- **+または−ボタンでフォルダを選び、OK または ▶▶I ボタンを押してファイル選択に移ります。**
  ファイル選択も同様に**+**または**−**ボタンでファイルを選びます。

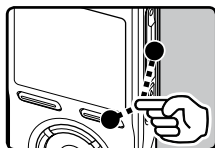
② **OK** または **▶▶I** ボタンを押して［**再生ファイル**］を完了します。

6 設定を完了する

① **+**または**−**ボタンを押して［**設定完了**］を選びます。
② OK または **▶▶I** を押して設定を完了します。

- 登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。［**ON／OFF**］設定を［**ON**］にすると、ディスプレイに **ON** が表示されます。

ⓐ［**ON**］設定時

他の予約番号を設定する場合は、手順２～６の操作を繰り返してください。
予約選択メニュー中に **▶▶I** ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

4 アラーム再生を使う

7 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。
ⓑ アラーム表示（［**ON**］設定時）

ご注意

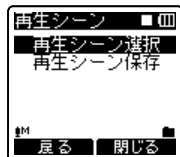
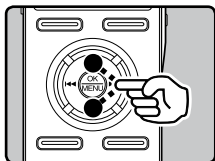
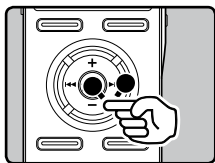
- ［**毎日**］に設定した場合、設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラームは鳴り始めて 5 分たつと止まります。このとき、再生ファイルを設定していてもファイルは再生されません。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合は、アラーム再生されません。
- 電源 OFF やホールドになっていても、［**アラーム再生**］の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。ホールド中の場合でもいずれかのボタンを押すと、設定したファイルの再生が始まり、**停止 ■** ボタンを押すと再生を停止します。
- 設定したファイルの移動や設定された microSD カードの抜き差し（DS-750 のみ）、ファイルの消去をするとファイルの再生は行われず、アラーム音のみが鳴ります。
- タイマー録音と開始時刻の設定が同じ場合は、タイマー録音の設定を優先します（☞ P.77）。
- ［**初期化**］（☞ P.114）を行うとアラーム音のデータも消去されるため、アラーム音を選択できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って、アラーム音データを本機にコピーしてください（☞ P.136）。

再生シーンを設定する［Play Scene］

本機で録音した音声ファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルを、音質や再生方法にあわせて、お好みの再生設定を保存しておくことができます。

1 メニューの［**再生設定**］で［**再生シーン**］を選ぶ

- ［**再生シーン**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して設定項目を選ぶ

3 OK または ▶▶I ボタンを押して設定に移る

［再生シーン選択］を選んだ場合の設定

① **+**または**−**ボタンを押して設定したい［**再生シーン**］を選ぶ

② **OK** ボタンを押して設定を完了します。

- ご購入直後は［**ユーザー設定**］の 1 〜 5 すべてが同じ設定（初期設定）となっています。［**再生シーン保存**］（☞ P.97）でユーザー設定を登録してから［**再生シーン**］を選んでください。
- 各［**再生シーン**］の設定状況を確認するには、［**再生シーン選択**］画面で、**+** または **−** ボタンで確認したい設定項目を選び、▶▶I ボタンを押して、設定確認画面で確認できます。
  設定確認画面を終わるときは、**F1** ボタンを押すと［**再生シーン選択**］画面に戻ります。

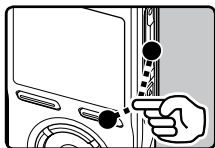
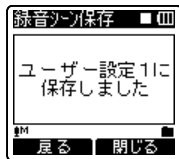
［再生シーン保存］を選んだ場合の設定

現在お好みで設定をしている再生に関するメニュー設定を保存することができます。

① 本機の再生に関するメニューをお好みの設定にする(☞P.52)。

② **+**または**−**ボタンを押して、設定を保存したい［**ユーザー設定**］を選ぶ。

③ **OK** ボタンを押して設定を確定します。

- 本機が停止中または再生中に **F2** ボタンを1秒以上押すと［**再生シーン選択**］画面になります。

4 **F2 または停止■ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

バックライトの設定［Backlight］

ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 10 秒間（初期設定）点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 メニューの［**表示／音設定**］で［**バックライト**］を選ぶ

- ［**バックライト**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、［**点灯時間**］または［**輝度設定**］を選ぶ

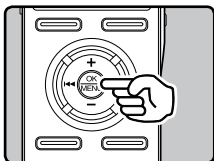
3 OK または ▶▶I ボタンを押す

- ［**点灯時間**］または［**輝度設定**］画面に入ります。

4 + または – ボタンを押して、設定を選ぶ

- バックライトの［**点灯時間**］と［**輝度設定**］をそれぞれ設定できます。

  [点灯時間]を選んだ場合:
  ［**OFF**］: バックライトは点灯しません。
  ［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］: バックライトの点灯時間を設定します。

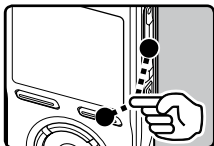
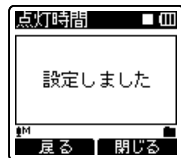
  [輝度設定]を選んだ場合:
  ［**HIGH**］: バックライトが明るく点灯します。
  ［**LOW**］: バックライトが通常の明るさで点灯します。

4
バックライトの設定

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

- F1 または ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

点灯時間

設定しました

戻る　閉じる

6 F2 または**停止** ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

ディスプレイのコントラストを設定する [Contrast]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

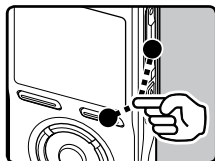
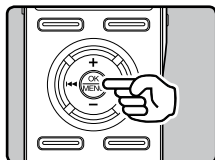
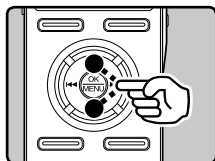
1 メニューの［表示／音設定］で［コントラスト］を選ぶ

- ［**コントラスト**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または − ボタンを押して、レベルを調整する

- ［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。

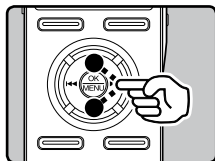
3 OK ボタンを押して、設定を完了する

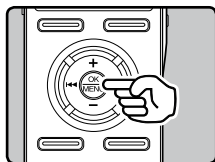
- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

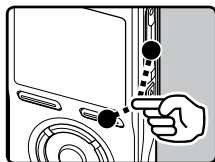
LED の設定［LED］

LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

1 メニューの［表示／音設定］で［LED］を選ぶ

- ［**LED**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、設定を変更する

- ［**ON**］:LED が点灯します。
- ［**OFF**］: LED は点灯しません。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

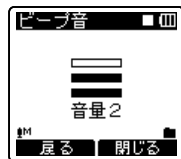
ビープ音の設定［Beep］

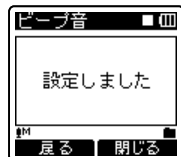
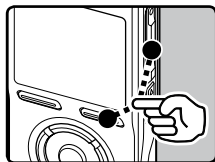
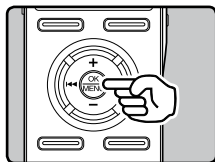
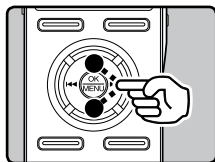
本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 メニューの［表示／音設定］で［ビープ音］を選ぶ

- ［**ビープ音**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、設定を変更する

- ［**音量 3**］：ビープ音の音量を大きくします。
- ［**音量 2**］：ビープ音の音量を通常にもどします。
- ［**音量 1**］：ビープ音の音量を小さくします。
- ［**OFF**］：ビープ音が鳴りません。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

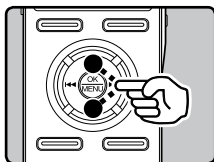
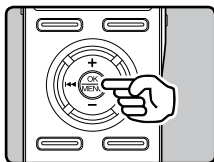
- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止■ボタンを押して、メニュー画面を終了する

ご注意

- ［**ビープ音**］の設定を［**OFF**］にしてもアラーム音は鳴ります。

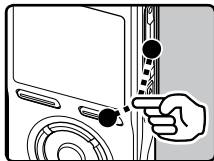
言語の設定［Language］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 **メニューの［表示／音設定］で［言語選択(Lang)］を選ぶ**

- ［**言語選択（Lang)**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+ または – ボタンを押して、設定を変更する**

3 **OK ボタンを押して、設定を完了する**

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

4 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

ご注意

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語はかわりません。

音声ガイドについて［Voice Guide］

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。アナウンスのスピードや音量を調節してご使用ください。［**言語選択（Lang）**］機能で言語を［**English**］に切り替えると、英語で音声ガイドを行います。

1 **メニューの［表示／音設定］で［音声ガイド］を選ぶ**

- ［**音声ガイド**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ**

- ［**ON ／ OFF**］［**スピード**］［**音量**］の中から、設定したい項目を選んでください。

3 **OK または ▶▶I ボタンを押して、それぞれの設定に移る**

［ON ／ OFF］の設定

① ＋または－ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選びます。
- ［**ON**］：音声ガイドが実行されます。
- ［**OFF**］：音声ガイドを解除します。

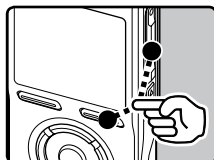
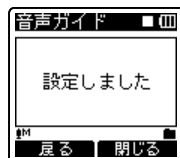
② **OK** ボタンを押して［**ON ／ OFF**］の設定を完了します。

4 音声ガイドについて

［スピード］の設定

① **+**または**−**ボタンを押して［**スピード 5**］［**スピード 4**］［**スピード 3**］［**スピード 2**］［**スピード 1**］を選びます。
② OK ボタンを押して［**スピード**］の設定を完了します。

［音量］の設定

① **+**または**−**ボタンを押して［**音量 5**］［**音量 4**］［**音量 3**］［**音量 2**］［**音量 1**］を選びます。
② OK ボタンを押して［**音量**］の設定を完了します。

4 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

ご注意

- 電源を ON ／ OFF（☞ P.19）する際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**OFF**］に設定すると解除されます。
- ［**初期化**］(☞ P.114) を行うと［**音声ガイド**］のデータも消去されるため、［**音声ガイド**］が使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P.136)。
- ［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。

イントロ再生を使う［Intro Play］

フォルダ内のファイルにカーソルを合わせるとファイルの先頭の数秒間を流すことができます。お探しのファイルを再生するときに便利です。

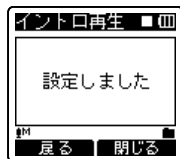
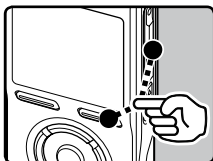
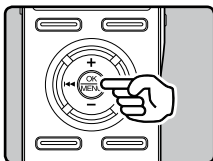
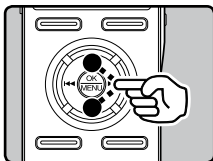
1 **メニューの［表示／音設定］で［イントロ再生］を選ぶ**

- ［**イントロ再生**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+ または − ボタンを押して、［10 秒］［5 秒］［3 秒］か［OFF］を選ぶ**

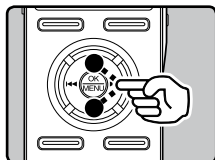
- ［**10 秒**］：ファイルの先頭を 10 秒間再生します。
- ［**5 秒**］：ファイルの先頭を 5 秒間再生します。
- ［**3 秒**］：ファイルの先頭を 3 秒間再生します。
- ［**OFF**］：機能しません。

3 **OK ボタンを押して、設定を完了する**

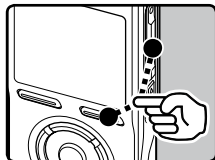
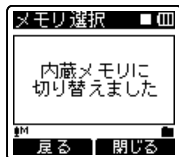
- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

4 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

記録するメディアを選択する［Memory Select］（DS-750 のみ）

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます (☞ P.23)。

1 メニューの［本体設定］で［メモリ選択］を選ぶ

- ［**メモリ選択**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 + または – ボタンを押して、記録メディアを選ぶ

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**本体設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ メモリ選択表示

4

記録するメディアを選択する

スリープ時間をかえる［Power Save］

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります。移行時間は［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］［**OFF**］の中から選んで設定できます。

1 メニューの［**本体設定**］で［**スリープ**］を選ぶ

- ［**スリープ**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

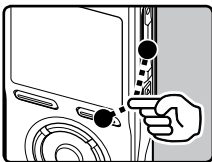
2 + または − ボタンを押して、［**5 分**］［**10 分**］［**30分**］［**1時間**］か［**OFF**］を選ぶ

- スリープを［**OFF**］に設定すると省電力モードにならないため、そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**本体設定**］画面に戻ります。

4 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

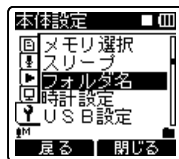
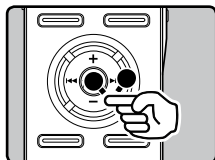
- スリープモードはいずれかのボタンを押すことによって解除されます。

ご注意

- 専用リモコンセット RS30W（別売）の操作ではスリープは解除されません。リモコンをご使用になる場合は、［**スリープ**］を［**OFF**］にすることをおすすめします。

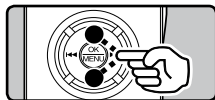
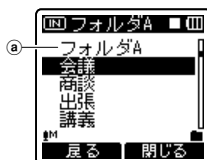
フォルダ名を変更する［Folder Name］

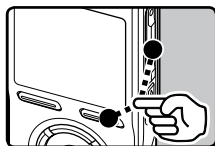
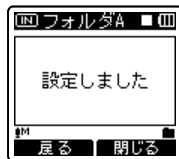
音声録音用の［A］～［E］フォルダのフォルダ名は、テンプレートにあらかじめ登録されている名前（［**会議**］［**商談**］［**出張**］など）に変更することができます。テンプレートに登録されているフォルダ名はOlympus Sonorityで変更することもできます。

1 メニューの［本体設定］で［フォルダ名］を選ぶ

- ［**フォルダ名**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して、名前変更するフォルダを選ぶ

3 OK または ▶▶I ボタンを押す

- テンプレート登録されているフォルダ名を表示します。

ⓐ 現在のフォルダ名

4 ＋または－ボタンを押して、テンプレートから変更したいフォルダ名を選ぶ

5 OK ボタンを押して、名前をつけるフォルダを変更する

6 F2 または**停止■**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

USB 設定の切り替え［USB Settings］

付属の USB ケーブルを使い、パソコンと接続してファイルの送受信などを行う［**PC 接続**］や USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）を接続して充電を行う［**AC アダプタ接続**］の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。

1 **メニューの［本体設定］で［USB 設定］を選ぶ**

- ［**USB 設定**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+ または − ボタンを押して、［USB 接続］または［USB クラス］を選ぶ**

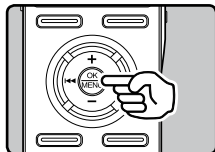
3 **OK または ▶▶I ボタンを押してそれぞれの設定に移る**

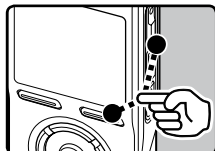
4 **+ または − ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ**

［USB 接続］を選んだ場合：

- ［**PC 接続**］：付属の USB ケーブルを使ってパソコンに接続するときの設定です。ストレージまたはコンポジットとして接続されます。
- ［**AC アダプタ接続**］：付属の USB ケーブルを使って USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）に接続するときの設定です。充電中は本機の動作は可能です。
- ［**毎回確認**］：USB 接続をする毎に接続方法を確認する設定です。

［USB クラス］を選んだ場合：

- ［**ストレージ**］：パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
- ［**コンポジット**］：パソコンと接続し、外部記憶装置、USB スピーカーおよびマイクとして使うときの設定です。

5 OK ボタンを押して、設定を完了する

- **F1** または **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**本体設定**］画面に戻ります。

6 F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- ［**ストレージ**］、［**コンポジット**］で初めて本機をパソコンに接続すると、ドライバがパソコンに自動的にインストールされます。パソコンに接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。

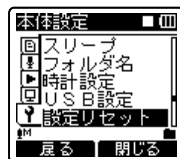
ご注意

- ［**USB 接続**］の設定を［**PC 接続**］にしたまま USB 接続 AC アダプタを接続すると、本機のディスプレイに［**しばらくお待ちください**］と表示されます。
- ［**USB 接続**］の設定を［**AC アダプタ接続**］にしたままパソコンに接続すると、パソコン側から認識されません。
- ［**コンポジット**］に設定しても充電接続（☞ P.17）をすると自動的に［**ストレージ**］に切り替わります。
- パソコンに外部記憶装置として認識されない場合は、［**コンポジット**］から［**ストレージ**］に切り替えてください。

設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

1 メニューの［**本体設定**］で［**設定リセット**］を選ぶ

- ［**設定リセット**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **+** ボタンを押して、［**開始**］を選ぶ

3 OK ボタンを押して、設定を完了する

- 各種設定が初期値に戻ります（☞ P.113）。

4 F2 または**停止** ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定リセット後のメニュー設定（初期設定）

録音設定

メニュー項目	初期設定
［マイク感度］（☞ P.66）	**［中］**
［録音モード］（☞ P.67）	**［ステレオ XQ］**
［録音レベル］（☞ P.69）	**［オート］**
［指向性マイク］（☞ P.71）	**［OFF］**
［ローカットフィルタ］（☞ P.73）	**［OFF］**
［VCVA］（☞ P.74）	ON ／ OFF：**［OFF］** 待機モニター：**［OFF］**

再生設定

メニュー項目	初期設定
［ノイズキャンセル］（☞ P.83）	**［OFF］**
［EUPHONY］（☞ P.84）	**［OFF］**
［音声フィルタ］（☞ P.85）	**［OFF］**
［再生モード］（☞ P.86）	再生範囲：**［ファイル］** リピート再生：**［OFF］** ランダム再生：**［OFF］**
［再生スピード］（☞ P.88）	遅聞き再生:**［0.75 倍速］** 早聞き再生:**［1.50 倍速］**
［スキップ間隔］（☞ P.90）	スキップ再生 **［ファイルスキップ］** 逆スキップ再生 **［ファイルスキップ］**

表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［バックライト］（☞ P.98）	点灯時間：**［10 秒］** 輝度設定：**［LOW］**
［コントラスト］（☞ P.100）	**［06］**
［LED］（☞ P.101）	**［ON］**
［ビープ音］（☞ P.102）	**［音量2］**
［言語選択 (Lang)］（☞ P.103）	**［日本語］**
［音声ガイド］（☞ P.104）	ON ／ OFF：**［ON］** スピード：**［スピード3］** 音量：**［音量3］**
［イントロ再生］（☞ P.106）	**［OFF］**

本体設定

メニュー項目	初期設定
［メモリ選択］（☞ P.107）	**［内蔵メモリ］**
［スリープ］（☞ P.108）	**［10分］**
［フォルダ名］（☞ P.109）	**［最初のフォルダ名］**
［USB 設定］（☞ P.110）	USB 接続：**［PC 接続］** USBクラス:**［ストレージ］**

ご注意

- 設定リセット後の［**時計設定**］、［**フォルダ名**］やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

初期化する［Format］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 メニューの［**本体設定**］で［**初期化**］を選ぶ

- ［**初期化**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 ＋または－ボタンを押して、初期化する記録メディアを選ぶ

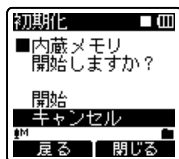
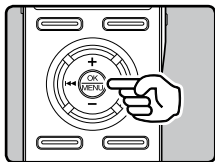
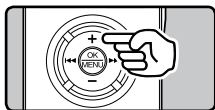
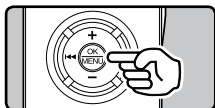
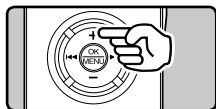
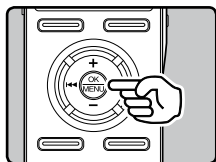
- DS-700 をお使いの方は、手順 4 へお進みください。

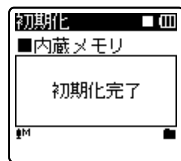
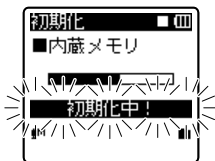
3 OK ボタンを押す

- ［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

4 ＋ボタンを押して、［**開始**］を選ぶ

5 OK ボタンを押す

- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

6 ＋ボタンを押して、もう一度［開始］を選ぶ

7 OK ボタンを押す

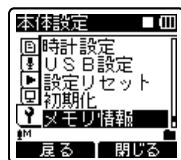
- ［**初期化中！**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が点滅したら初期化終了です。

ご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（DS-750 のみ）（☞ P.107）。
- データが破損する恐れがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、2本とも新しい電池に交換してください。
  ①処理中に USB 接続 AC アダプタを抜く。
  ②処理中に電池を取り外す。
  ③記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中に microSD カードを取り外す（DS-750 のみ）。
- 本機をパソコンから［**初期化**］することは絶対にしないでください。
- 一度［**初期化**］をすると、DRM 付き音楽ファイルを再び本機へ転送することができなくなる場合があります。
- ［**初期化**］をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.112）。
- 本機での microSD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。microSD カード内のデータは、［**初期化**］をしてもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、microSD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、microSD カードを破壊するなどの対処をおすすめします（DS-750 のみ）（☞ P.23）。
- ［**初期化**］を行うと［**音声ガイド**］のデータも消去されるため、［**音声ガイド**］が使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P.136）。

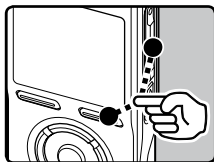
記録メディアの情報を見る [Memory Info.]

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 メニューの［**本体設定**］で［**メモリ情報**］を選ぶ

- ［**メモリ情報**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 情報を確認したら OK または ⏮ ボタンを押して、［**メモリ情報**］画面から出る

- 記録メディアの［**残量**］［**容量**］を表示します。microSD カードを入れていない場合、内蔵メモリの情報のみ表示されます（DS-750 のみ）。

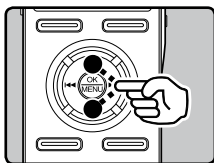
3 F2 または**停止** ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する

ご注意

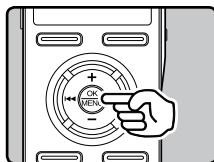
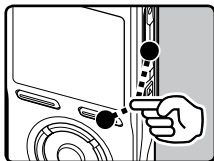
- 記録メディアの残量については、本機が使用する管理ファイルが使用する領域分も含まれています。特に microSD カード（DS-750 のみ）については、この管理領域以外にも microSD カードとしての管理領域分も加わるため、その分 microSD カードの規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

システム情報を見る［System Info.］

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 **メニューの［本体設定］で［システム情報］を選ぶ**

- ［**システム情報**］画面に入ります。
- メニュー設定の詳細は P.49、P.50 をご覧ください。

2 **＋ または － ボタンを押して、画面を切り替える**

- ［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

3 **情報を確認したら OK または ⏮ ボタンを押して、［システム情報］画面から出る**

4 **F2 または停止 ■ ボタンを押して、メニュー画面を終了する**

ファイルをパソコンに保存する

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンで音声ファイルを再生する (☞ P.133)。
  本機で録音した音声ファイルは、同梱の CD-ROM に含まれているソフトウェア Olympus Sonority または Windows Media Player (☞ P.141) を使って、パソコン上で再生できます。
- Olympus Sonority を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理することができます。
- Windows Media Player を使ってパソコンに取り込んだ WMA や MP3 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます (☞ P.144)。
- Olympus Sonority Plus へのアップグレード（有償）および音楽編集プラグインの追加（有償）を行えば、より多彩な機能をご利用いただけます (☞ P.139)。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードするときはパソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続ケーブルを外さないでください。また、USB 接続ケーブルを外す場合は、必ず ☞ P.127 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合は正しく初期化されません。初期化は、本機のメニューから行ってください（☞ P.114）。
- Windows に付属の Explorer、Macintosh に付属の Finder で表示されるフォルダ（ディレクトリ）名は本機および Olympus Sonority で設定できるフォルダ名とは異なります。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続するときは、イヤホンを外してください。

ソフトウェアの機能説明についての注意事項

機能の項目で Windows で使用できる場合は **Windows**、Macintosh で使用できる場合は **Macintosh** と表記しています。**Windows** または **Macintosh** のいずれか一方のみが記載されている項目は、対象のシステムでのみのサポートとなります。

パソコンの動作環境

Olympus Sonority の基本動作環境

Windows

OS (オペレーティングシステム)	Microsoft® Windows® XP Home Edition Service Pack 2, 3 Microsoft® Windows® XP Professional Service Pack 2, 3 Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2 (以降 XP と表記) Microsoft® Windows Vista® Home Basic, Service Pack 1 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Vista® Home Premium, Service Pack 1 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Vista® Business, Service Pack 1 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Vista® Enterprise, Service Pack 1 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Vista® Ultimate, Service Pack 1 (32bit/64bit) (以降 Vista と表記) Microsoft® Windows® 7 (32bit/64bit) (以降 7 と表記)
CPU	1 GHz 以上の 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール : 300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
ディスプレイ	1024 x 768 ドット、 65,536 色以上 (1,677 万色以上を推奨)
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境

Macintosh

OS (オペレーティングシステム)	MacOS-X 10.4.11 -10.6
CPU	PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール : 300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Safari 2.0 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット、32000 色以上 (1,677 万色以上を推奨)
USB ポート	1つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境 Quick Time version7.2 以上を推奨

ご注意

Windows

- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

Macintosh

- Olympus Sonority の一部の機能については、QuickTime 7.2 以上が必要となります。QuickTime の最新版は、MacOS のソフトウェアアップデートで入手することができます。

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。
お客様の環境と異なる場合は、説明内容にしたがいそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- 1 台目のハードディスクを C ドライブとして解説します。
- 1 台目のフロッピーディスクを A ドライブとして解説します。
- 1 台目の CD-ROM ドライブを D ドライブとして解説します。
- Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスを C:¥Windows として解説します。

また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。分からない用語については、[**用語の説明**] をご覧ください (☞ P.164)。

Olympus Sonority でできること

Olympus Sonority はファイルの管理や編集をするためのさまざまな機能が搭載されています。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.125）の各項目をご覧ください。

波形編集機能

波形編集タブで音声データを簡単に加工をすることができます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存しなおすことができます。

ワンタッチエフェクト機能

ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけたり、指定した領域にノイズリダクションを施すことができます。

ファイルを E-mail で送信する

音声ファイルはハードディスク上の［Message］フォルダの中に保存されています。E-mail に添付して音声ファイル送信することができます。

本機のユーザー ID を変更する

本機で録音されるファイルに、自動的に付けられるユーザー ID を変更できます。

フォルダ名を変更する

フォルダ名を変更できます。12 文字まで入力可能ですが、半角の ¥/:*?"<>| は入力できません。
本機で対応している言語以外の OS（オペレーションシステム）でフォルダ名変更をすると文字化けする場合があります。

コメントを編集する

本機からダウンロードしたファイルに Olympus Sonority 上でコメントをつけることができます。入力できる文字数は全角 50 文字（半角 100 文字）以内です。

ファイル形式をその他の形式に変更する *

現在のファイルの保存形式を他の形式に変更できます。

ファイルを結合する *

指定した複数の音声ファイルを結合して 1 つのファイルを作成することができます。

ファイルを分割する *

指定した 1 つの音声ファイルを 2 つのファイルに分割することができます。

*MP3 形式に書き出す場合は、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが必要です（☞ P.138）。

ソフトウェアのインストール

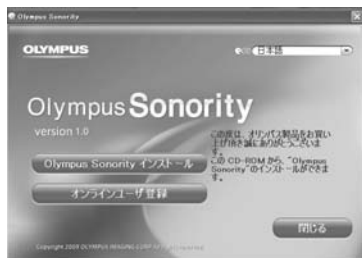
本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱の CD-ROM「**Olympus Sonority**」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 付属の［**Olympus Sonority**］を CD-ROM ドライブに挿入する

- 自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順 4 に進み、起動しない場合は次の手順 2、3 にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身を［**エクスプローラ**］で開きます

3 CD-ROM 内にある、［**Setup**］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行なってください。

5 ［**Olympus Sonority インストール**］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 ［使用許諾契約］

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**次へ**］をクリックしてください。

7 ［ユーザー登録情報の登録］

- あなたのお名前、会社名および別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力が終りましたら［**次へ**］をクリックします。

8 ［セットアップタイプの選択］

- インストール先を変更することができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は［**カスタム**］を選択します。）

9 ［インストールの開始］

- インストールを開始するには、［**インストール**］をクリックします。インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、他の作業を行なわないでください。

10 ［インストールの完了］

- インストールが終了すると、［**Install Shield**］の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は、「**パソコンに接続する**」(P.126)を、Olympus Sonority を起動する場合は「**Olympus Sonority を起動する**」（P.128）をご覧ください。

Macintosh

1 付属の［Olympus Sonority］を CD-ROM ドライブに挿入する

- CD-ROM の内容が表示された場合は手順３に進み、表示されない場合は手順２, ３にしたがって進んでください。

2 CD-ROM の中身を、［Finder］で開きます。

3 CD-ROM 内にある、［Setup］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら、［オンラインユーザー登録］をクリックし、ユーザー登録を行なってください。

5 ［Olympus Sonority のインストール］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 ［使用許諾契約］

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**続ける**］をクリックしてください。

7 ［インストール先の変更］

- インストール先を変更することができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は、［**インストール先を変更**］を選択します。）

8 ［インストールの開始］

- インストールが終了すると、［**インストーラ**］の完了画面が表示されます。
- 本機をパソコンに接続する場合は、「**パソコンに接続する**」(P.126)を、Olympus Sonority を起動する場合は「**Olympus Sonority を起動する**」（P.128）をご覧ください。
- Olympus Sonority 起動後、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力後、［**OK**］をクリックすると、Olympus Sonority が起動します。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを削除することをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

Windows

1 Olympus Sonority を終了する

2 **[スタート]** メニューより **[コントロールパネル]** を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある **[プログラムの追加と削除]** をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら、**[Olympus Sonority]** を選ぶ

5 **[変更と削除]** をクリックする

6 **[ファイル削除の確認]**

- [**OK**] をクリックするとアンインストールを開始します。
  途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示にしたがって操作してください。

7 **[メンテナンスの完了]** の画面が表示されたら **[完了]** をクリックし、アンインストールを終了する

Macintosh

1 Olympus Sonority を終了する

2 **[Finder]** を開き、アプリケーションフォルダ内の **[SonorityUninstaller.pkg]** をダブルクリックする

3 アンインストーラが起動しますので、ウィザードに従って手順を進める

4 途中、管理者のパスワードを要求されますので、パスワードを入力して、**[OK]** をクリックする

5 アンインストールが開始され、成功のメッセージが表示されたら、**[閉じる]** をクリックする

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは [**Message**] フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。[**Message**] フォルダの場所は、アンインストールする前に [**ツール**] メニューの [**オプション**] をクリックし [**管理フォルダの設定**] の項目で確認できます。

5 ソフトウェアのアンインストール

オンラインヘルプの使いかた

Windows **Macintosh**

オンラインヘルプを表示するには、次のいずれかを行ってください。

- Olympus Sonority を起動した状態で、[**ヘルプ**] メニューから [**Olympus Sonority のヘルプ**] を選択する。

目次で検索する

1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の [📖] をダブルクリックする

- 選択項目のタイトルが表示されます

3 検索したい項目の [📄] をダブルクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。

キーワードで検索する

1 オンラインヘルプを表示させてから、[索引] の項目をクリックする

- 検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 キーワードをクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。

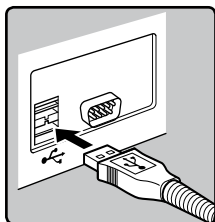
ご注意

- 本書は Olympus Sonority の基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは Olympus Sonority のインストール後から使用できます。

パソコンに接続する

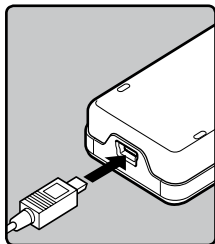
パソコンに接続する

Windows **Macintosh**

本機の接続は、必ず Olympus Sonority をインストールしてから行ってください (☞ P.122)。

1 **本機の電源を ON にする**

2 **USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する**

3 **本機が停止していることを確認し、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する**

- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です（ストレージ)**］と表示されます。
- 本機のUSB接続設定で、［**AC アダプタ接続**］を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.110)。
- Windows の場合は、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っている場合（DS-750 のみ）は［**リムーバブルディスク**］と表示されます。
- Macintosh の場合は、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。

ご注意

- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、USB ハブを使用しないでください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの [ ] をクリックし、**[USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します]** をクリックする

- お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 レコーダーの録音表示ランプが消えていることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する

2 レコーダーの録音表示ランプが消えていることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

ご注意

- 録音表示ランプ点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- パソコンと接続すれば、付属の USB 接続ケーブルより電源が供給されますので、本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
- パソコンの USB ポートについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB 接続ケーブルは、必ずパソコン本体の USB ポートに接続してください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。
- ホールドは解除してください。

Olympus Sonority を起動する

本機をパソコンに接続すると自動的に Olympus Sonority を起動できます。

Windows

自動起動の設定を停止する場合

1 **画面右下のタスクバーの［ ］を右クリックし、［設定］を選ぶ**
- 設定可能なアプリケーションをダイアログ表示します。

2 **［Olympus Sonority］の［ ］をクリックする**
- ［**Olympus Sonority**］についていたチェックが消えます。再び自動起動する場合はもう一度クリックしてチェックを入れてください。

手動で起動する場合

1 **Windows を起動する**

2 **エクスプローラの、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➔［Olympus Sonority］➔［Olympus Sonority］を選択する**
- 情報表示エリアが表示されます。
- 起動後、画面右下のタスクバーに［ ］のアイコンが表示されます。

Macintosh

自動起動の設定を停止する場合

1 **メニューバーから［ ］➔［システム環境設定］➔［ ］をクリックする**
- 設定ダイアログが表示されます。

2 **自動起動のチェックボックスの設定を［OFF］にする**

手動で起動する場合

1 **Finder から［アプリケーション］➔［Olympus Sonority］➔［Olympus Sonority］をダブルクリックする**
- 初めて起動するときは、シリアル番号の登録ダイアログが表示されます。

2 **シリアル番号を入力する**
- シリアル番号は製品に同梱されている CD パッケージを参照してください。
- シリアル番号が正しい場合は情報表示エリアが表示されます。

ご注意
- 複数の Olympus Sonority を同時に起動させることはできません。
- DSS Player などの他のアプリケーションが起動していた場合は、そのアプリケーションを終了させ、Olympus Sonority を起動させてください。

ウィンドウのなまえ (Olympus Sonority)

Olympus Sonority ブラウズ画面

Olympus Sonority のメイン画面です。
(表示画面は Windows での表示画面です。)

① **メニューバー**
OS 標準のメニューバーです。

② **ツールバー**
ブラウズ画面で使用するツールバーボタンが表示されます。

③ **再生コントロールバー**
ファイル表示エリアで選択したファイルを再生するときに使用します。

④ **メインツリービュー**
本機からダウンロードしたファイル、Olympus Sonority で録音したファイルなど、PC 内で Olympus Sonority が管理している音声／音楽ファイルを保存しているフォルダが表示されます。

⑤ **デバイスツリービュー**
接続したデバイス内のフォルダが表示されます。

⑥ **ファイルリスト表示エリア**
メインツリービューまたはデバイスツリービューで選択されているフォルダや本機内にある全ての音声ファイルの詳細情報が表示されます。

Olympus Sonority 起動時には、情報表示エリア（初期設定）が表示され、Olympus Sonority の基本情報の表示やアップデート、アップグレードができます（☞ P.130）。

Olympus Sonority 情報表示エリア

Olympus Sonority のアップデートや接続された本機のファームウェアのアップデートを確認して、アップデートを実行することができます。また Olympus Sonority Plus へのアップグレードやポッドキャストの番組登録などもここから実行することができます。

はじめて Olympus Sonority を起動すると、ブラウズ画面の［ファイルリスト表示エリア］に［情報表示エリア］を表示します。

① **音声ファイルの一覧**
メインツリービューのフォルダ A が選択され、ファイルリスト表示エリアを表示します。

② **番組ガイドを開く**
ポッドキャストの番組ガイドについて新着情報を表示します。

③ **新着情報を更新**
Olympus からの新着情報を更新します。

④ **更新情報を見る**
Olympus Sonority や接続された本機のアップデート情報を確認します。

⑤ **アップグレードキー番号を登録**
購入したアップグレードキー番号を登録します。

⑥ **アップグレード**
購入したいアップグレードを選択します。アップグレード済みの場合は、ボタンの代わりにアップグレードキーが表示されます。

⑦ **表示／非表示**
次回の Olympus Sonority 起動時から、情報表示エリアを表示するかどうかを選択します。
非表示に設定すると、ファイルリスト表示エリア（☞ P.129）を表示します。

録音した音声をパソコンに取り込む

Windows **Macintosh**

本機からファイルをパソコンに取り込むことをダウンロードと呼びます。Olympus Sonority では、ファイルをパソコンにダウンロードする方法として次の 3 つがあります。

- 選択ファイルのダウンロード
  1 つまたは複数のファイルをパソコンに取り込みます。
- フォルダを指定してダウンロード
  フォルダ内にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
- すべてのファイルをダウンロード
  本機にあるすべてのファイルをパソコンに取り込みます。
  ここでは［**選択ファイルのダウンロード**］について説明します。［**フォルダを指定してダウンロード**］や［**すべてのファイルをダウンロード**］については、オンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

選択ファイルのダウンロード

1 フォルダを選ぶ

- デバイスツリービューでダウンロードしたいファイルが入ったフォルダを選びます。図では、［**フォルダ A**］が選択されています。

2 ファイルを選ぶ

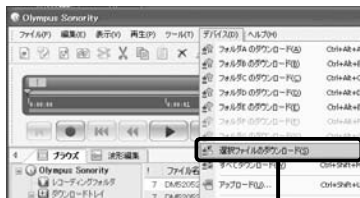
- ファイルリスト表示エリアからダウンロードしたい音声ファイルを選択する。

  複数選択する場合は：

  Windows：［**Ctrl**］キーまたは［**Shift**］キーを押しながら選択する。

  Macintosh：［**コマンド**］キーを押しながら選択する。

3 ファイルをダウンロードする

• ［**デバイス**］メニューから［**選択ファイルのダウンロード**］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックします。

3

4 ダウンロードの完了

• パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続ケーブルを外さないでください。
USB 接続ケーブルを外す場合は、必ず ☞P.127 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。

ご注意

• 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
• ファイルのサイズやパソコンによってはダウンロードに時間がかかることがあります。
• ダウンロード先は、本機のフォルダと対応した、ダウンロードトレイのフォルダに保存されます。
（例）本機の［**フォルダ A**］からダウンロードしたファイルは、メインツリービューのダウンロードトレイ内の［**フォルダ A**］に保存されます。
• 同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はダウンロードされません。

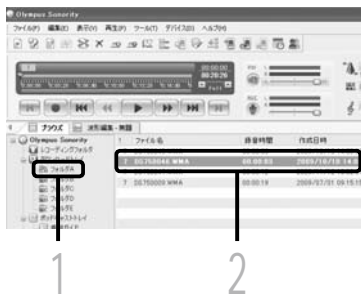
ファイルを再生する

Windows **Macintosh**

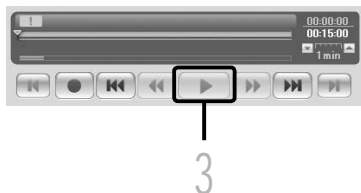
1 フォルダを選ぶ

- 再生したいファイルが入っているフォルダを選びます。
  図では取り込み済みのファイルを指定するため、メインツリービューの［**フォルダ A**］を選択しています。

2 ファイルを選ぶ

- ファイルリスト表示エリアから再生したいファイルを選びます。

3 ファイルを再生する

- 再生コントロールバーの［ ▶ ］（再生ボタン）を押します。

その他の早戻し、早送り、停止、再生速度、音量、時間軸、インデックスマークスキップなどは、再生コントロールバーで操作できます。詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

波形編集機能を使う

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority では、波形編集タブで音声データを簡単に加工することができます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存しなおすことができます。

1 **ブラウズ画面から、編集したいファイルを選択し、[ファイル] ➔ [編集] を選ぶ**
- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 **波形の削除したい部分をドラッグして選ぶ**
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

3 **[編集] メニューから [切り取り] を選ぶ**
- 選択した波形部分が削除されます。

4 **波形表示部分の任意の箇所をクリックする**
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

5 **[編集] メニューから [ペースト] を選ぶ**
- 選択した箇所に先ほど切り取った波形が挿入されます。

6 **トラック領域の書き出し [ ] をクリックする**
- 保存ダイアログが表示されます。

ワンタッチエフェクト機能を使う

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority では、波形編集タブで音声データを簡単に加工することができます。ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけることができます。ここでは、指定した領域にノイズリダクションを施す手順について説明いたします。

1 **ブラウズ画面から、編集したいファイルを選択し、[ファイル] ➔ [編集] を選ぶ**
- 波形編集画面に切り替わり、波形が表示されます。

2 **効果をかけたい箇所の波形部分をドラッグして選ぶ**
- 波形表示で選択した箇所がグレー表示となります。

3 **ノイズリダクションの補正ボタン [ ] を押す**
- 選択した範囲のノイズが除去されます。

4 **選択した箇所の開始位置をクリックし、再生コントロールバーの [▶] (再生ボタン) を押す**
- ノイズリダクションのかかった状態で再生を行ないます。

ファイルを本機に転送する

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority には、パソコンにあるファイルを本機に転送（アップロード）する機能があります。

1 **フォルダを選ぶ**
- メインツリービューから、転送したいファイルの入っているフォルダを選びます。

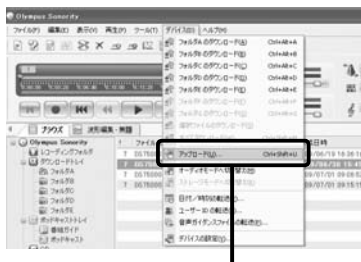
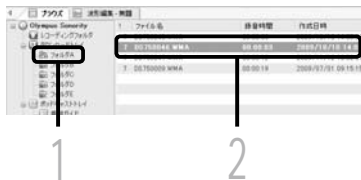
2 **ファイルを選ぶ**
- ファイルリスト表示エリアから、転送したいファイルを選びます。

3 **転送先フォルダを選ぶ**
- ［**デバイス**］メニューから［**アップロード**］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックします。転送先フォルダ一覧のアップロードダイアログが表示されたら、転送先フォルダを選んでください。

4 **ファイルを転送する**
- ［**OK**］をクリックすると、ファイルが本機に転送されます。

5 **アップロードの完了**
- 通信中の画面が消え、本機の録音表示ランプが消えたらアップロードの完了です。

ファイルリスト表示エリアから転送したいファイルを選び、デバイスツリービューのフォルダにドラッグ＆ドロップ（マウスの左ボタンを押したまま移動し、移動先でボタンを離す）して転送することもできます。

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。
- 本機のフォルダ内に同じ名前のファイルがあるときは、ファイルの内容が異なる場合のみ別のファイル名で保存します。ファイルの内容が同じ場合はアップロードされません。

音声ガイドデータをコピーする

Windows **Macintosh**

本機を初期化して音声ガイドデータを本機から消去してしまったときは、Olympus Sonority から音声ガイドデータを本機にコピーすることができます。

1 本機の音声ガイドが［ON］に設定されていることを確認する

- 本機の音声ガイドが［**OFF**］に設定（☞ P.104）されていると、音声ガイドデータはコピーされません。

2 本機をパソコンに接続する

- 接続方法は「**パソコンに接続する**」（☞ P.126）をご覧ください。

3 Olympus Sonority を起動する

- 本機に音声ガイドデータが無い場合、［**音声ガイダンスの転送**］ダイアログが表示されます。

4 音声ガイドデータをコピーする

- ［**音声ガイダンスの転送**］ダイアログで［**OK**］をクリックすると、音声ガイドデータのコピーが始まり、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

5 音声ガイドデータのコピー完了

ご注意

- アラーム音（☞ P.92）、電源を ON ／ OFF（☞ P.19）する際の起動音／終了音のデータも、音声ガイドデータと一緒にコピーされます。
- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

USB マイク／スピーカとして使う

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority では、本機を USB マイクや USB スピーカとして使用して、パソコンに取り込んだ音声ファイルに挿入／追加／上書き録音を行ったり、直接パソコンに新規の録音を行ったりすることができます。
またこの際に、本機のボタンで Olympus Sonority の操作を行うことも可能です。

オーディオ設定

Olympus Sonority で本機を USB マイクまたは USB スピーカとしてお使いいただくには、本機をパソコンに接続後、下記の設定を行ってください。初めて本機を接続した場合は、ドライバーがパソコンにインストールされます。

Olympus Sonority を起動し、波形編集タブ［ ］で波形編集画面に切り替えます。

USB スピーカーとして使う

本機を USB スピーカとして使用すると、パソコンに付属のスピーカから音声出力をさせずに、本機から音声出力させることができます。

［ツール］メニューから［レコーダーのスピーカー］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックする。

USB 接続した本機をスピーカーとして使用できます。

USB マイクとして使う

本機を USB マイクとして使用すると、Olympus Sonority で音声の録音が行えるほかに、音声認識ソフトやその他のアプリケーションでも、パソコンに音声を入力することができます。

［ツール］メニューから［レコーダーのマイク］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックする。

パソコンに USB 接続させた本機をマイクとして使用できます。

ご注意

- USB マイクとして使用する場合は本機の録音モードに関係なく、USB ステレオマイクとなります。本機に外部マイクを接続する場合は、ステレオマイクをご利用ください。

アップグレード機能

Windows **Macintosh**

Olympus Sonority は、Plus 版へアップグレード（有償）することで、より高度な機能に拡張することができます。また Olympus Sonority Plus では、音楽編集プラグインを購入することで高度なエフェクト編集などをお楽しみいただけます。音楽編集プラグインを追加するには、Olympus Sonority Plus のアップグレードが必要です。

ご購入およびアップグレードのしかた

Olympus Sonority Plus を購入し、Olympus Sonority からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 Olympus Sonority を起動する

- 起動方法は ☞ P.128 をご覧ください。

2 ［ヘルプ］メニューの［Olympus Sonority Plus の購入］を選ぶか、ツールバーの［ ］ボタンをクリックする

- ウェブブラウザが起動し、Olympus Sonority Plus の購入サイトが表示されます。画面の案内にしたがって操作してください。購入完了後、画面上またはメールによりアップグレードキーが発行されます。

3 ［ヘルプ］メニューから、［アップグレードキーの登録］を選択する

- ［**アップグレードキーの登録**］ダイアログが表示されます。

4 ［アップグレードキーの登録］ダイアログに購入したアップグレードキーを入力し、［OK］をクリックする

- 次回起動時に、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが行われ、Olympus Sonority Plus としてご利用いただけます。

Olympus Sonority Plus へのアップグレードを確認するには

ブラウズ画面で、メインツリービューのルート［**Olympus Sonority**］をクリックし、インフォメーション画面を表示させてください。アップグレードキーが登録されていることが確認できます。または［**ヘルプ**］メニューの［**Olympus Sonority について**］を選択すると、Olympus Sonority Plus に登録したアップグレードキーが表示されます。音楽編集プラグインは、２０種類以上のエフェクト機能、スペクトラムアナライザ機能が追加されます。詳細は、オンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

ご注意

- アップグレードキーの購入には、インターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- アップグレードキーのご購入につきましては、Olympus Sonority のオンラインヘルプをご覧ください。

Olympus Sonority Plus でできること

Olympus Sonority Plus 版 は通常版の機能に加え、音楽ファイルの編集が行えるさまざまな機能があります。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

MP3 編集

MP3 ファイルおよびタグの編集、書き出し機能。

音楽 CD の作成

CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽 CD 作成機能。

レコーダーメニューの設定

本機の設定（録音モード、アラームの設定、タイマー録音など詳細な設定）機能。

音楽編集プラグインでできること

Olympus Sonority Plus で音楽編集プラグインをご購入いただくと、音楽編集の幅が広がる高度な機能を追加することができます。詳しい購入方法や操作方法については、オンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

エフェクト機能

20 種類以上の高度なエフェクト機能をつかって、音楽ファイルをより高度に編集できます。

スペクトラムアナライザ

波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。

無制限のトラック編集

同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

コンテンツを取り込んで楽しむ

Windows Media Player や iTunes を使って、語学 CD やインターネットからパソコンに取り込んだ語学コンテンツや音楽ファイルを、本機に転送して再生することができます。

また Olympus Sonority を使って、インターネット上でポッドキャスト配信されているコンテンツを取り込んで楽しむこともできます。

本機は WMA 形式、MP3 形式の語学コンテンツに対応しています。

Windows Media Player を使って取り込む

・CD からパソコンに音楽ファイルや語学コンテンツをコピーする。
➥ 詳細は「**CD から音楽をコピーする**」(☞ P.143）をご覧ください。
・パソコンにコピーした音楽ファイルや語学コンテンツを本機へ転送する。
➥ 詳細は「**音楽ファイルを本機に転送する**」(☞ P.144）をご覧ください。

iTunes を使って取り込む

・CD からパソコンに音楽ファイルや語学コンテンツをコピーする。
➥ 詳細は「**CD から音楽をコピーする**」(☞ P.150）をご覧ください。
・パソコンにコピーした音楽ファイルや語学コンテンツを本機へ転送する。
➥ 詳細は「**音楽ファイルを本機に転送する**」(☞ P.151）をご覧ください。

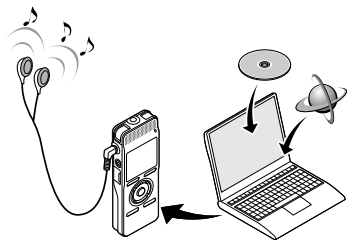
Olympus Sonority を使って取り込む

・インターネット上でポッドキャスト配信されているコンテンツをパソコンに取り込む。
➥ 詳細は「**ポッドキャストコンテンツを取り込む**」（☞ P.153）をご覧ください。

本機でダイレクト録音する

・他の機器と本機をつないで直接本機へ録音する。
➥ 詳細は「**他の機器の音声を本機で録音する**」（☞ P.33）をご覧ください。

Windows Media Player を使う

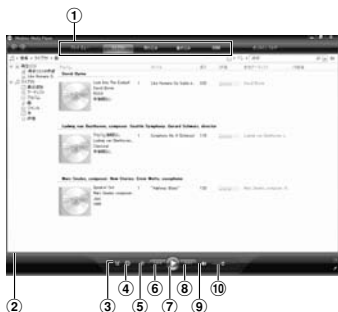
音楽ＣＤやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生できます。本機は WAV、MP3、WMA 形式の音楽ファイルに対応しています。
Windows Media Player を用いると、音楽ＣＤから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P.143）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送できます（☞ P.144）。

著作権と著作権保護機能（DRM）について

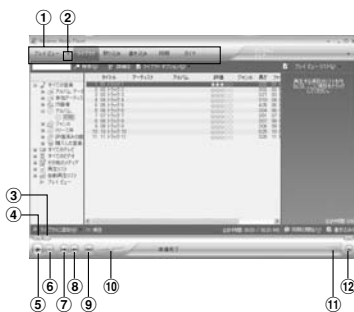
著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的とした WAV、WMA や MP3 ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。 DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 11

①機能タスクバー
②位置スライダ
③ランダム再生ボタン
④連続再生ボタン
⑤停止ボタン
⑥前へボタン
⑦再生ボタン
⑧次へボタン
⑨ミュートボタン
⑩音量スライダ

Windows Media Player 10

①機能タスクバー
②クイックアクセスパネルボタン
③位置スライダ
④巻き戻しボタン
⑤再生ボタン
⑥停止ボタン
⑦前へボタン
⑧次へボタン
⑨ミュートボタン
⑩音量スライダ
⑪ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫早送りボタン

CD から音楽をコピーする

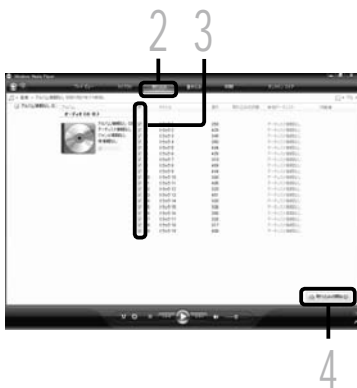
1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

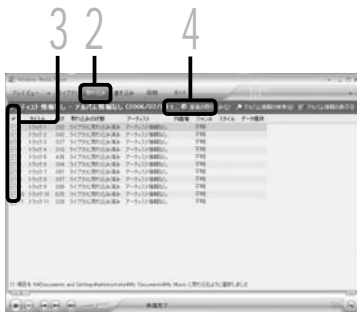
2 機能タスクバーから［**取り込み**］メニューをクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**取り込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**アルバム情報の表示**］をクリックしてください。
- インターネットに接続できる場合、CD の情報検索します。

3 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

4 ［**取り込みの開始**］をクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**音楽の取り込み**］をクリックします。
- パソコンにコピーされたファイルは WMA 形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 11

Windows Media Player 10

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「**CD から音楽をコピーする**」をご覧ください (☞ P.143)。

Windows Media Player 11

1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［同期］メニューをクリックする

3 再度［同期］メニューをクリックし、[DVR] ➔［詳細オプション］➔［同期の設定］と選択した後、以下の設定を行う

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。チェックを外して同期にすると［**ホーム**］フォルダ直下に転送され、ファイルが見えなくなります。**＊1 ＊2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

＊1 フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

＊2 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度＊1 の設定が必要になる場合があります。

4 **左側の［ライブラリ］からお好みのカテゴリーを選択し、本機に転送したい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［同期リスト］にドラッグ＆ドロップする**

5 **［同期の開始］をクリックする**

- ファイルが本機に転送されます。

Windows Media Player 10

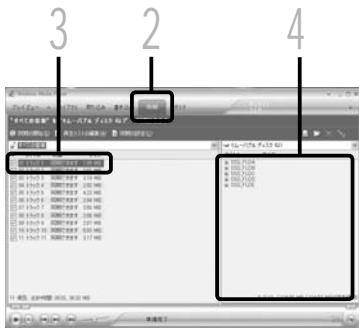
1 **本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する**

2 **機能タスクバーから［同期］メニューをクリックする**

3 **左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける**

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 **右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選択する**

- 通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 右上の［ ］をクリックして、同期オプションを設定する

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。チェックを外して同期にすると［**ホーム**］フォルダ直下に転送され、ファイルが見えなくなります。***1 *2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

***2** 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 ***1** の設定が必要になる場合があります。

6 ［同期の開始］をクリックする

- ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入されたDRM付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Media Player 9 を使っての転送方法は、弊社 Web サイトでご確認ください。
http://olympus-imaging.jp/
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると､本機のディスプレイに［**管理ファイルが作成できません　PC に接続して不要なファイルを消去して下さい**］と表示される場合があります。この場合、ファイルを消去して管理ファイルの空き容量（数百 KB ～数十 MB）を確保してください（管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります）。

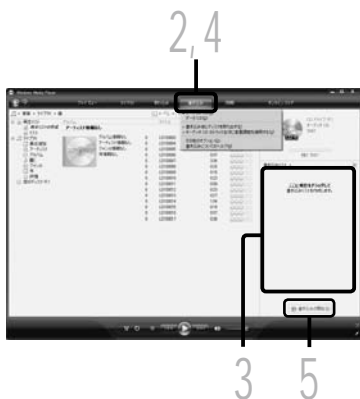
パソコンからファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は「**録音した音声をパソコンに取り込む**」をご覧ください (☞ P.131)。

Windows Media Player 11

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

3 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選択し、CD-R/RW にコピーしたい曲、またはアルバムを選択したら、右側の［**書き込みリスト**］にドラッグ＆ドロップする

4 再度［**書き込み**］メニューをクリックし、［**オーディオ CD**］か［**データ CD**］を選択する

［オーディオ CD］を選んだ場合：CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［**書き込みの開始**］をクリックする

Windows Media Player 10

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

- ［**書き込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**再生リストの編集**］をクリックしてください。
- ファイルをドラッグ＆ドロップすると、曲順を変更できます。

3 コピーしたいファイルにチェックをつける

4 ［書き込みの開始］をクリックする前に、CD 形式を選択する

［オーディオ CD］を選んだ場合：CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［書き込みの開始］をクリックする

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、CD-R/RW へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。

iTunes を使う

iTunes を使って、語学 CD やインターネットからパソコンに取り込んだ語学コンテンツや音楽ファイルを、本機に転送して再生することができます。
iTunes を使って、音楽CDから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P.150）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送できます（☞ P.151）。

ウィンドウのなまえ

①機能タスクバー
②巻き戻しボタン／再生・一時停止ボタン／早送りボタン
③音量スライダ
④プレイリスト追加ボタン
⑤ランダム再生ボタン
⑥連続再生ボタン
⑦表示切替ボタン
⑧ディスク作成ボタン
⑨Genius ボタン
⑩Genius サイドバーボタン

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 **[iTunes]** ➔ **[環境設定]** をクリックする

3 **[一般]** タグをクリックする

4 **[読み込み設定]** をクリックし、パソコンにコピーするときのファイル形式やビットレートを設定したら [OK] をクリックする

- 本機は MP3 形式、WAV 形式のファイルに対応しています (☞ P.38)。
  [読み込み方法]：CD の曲を読み込むときのファイル形式を設定します。[**MP3**] または [**WAV**] を選んでください。
  [設定]：CD の曲を読み込むときのビットレートを設定します。ビットレートは [**128**]、[**160**]、[**192**] から選べます。

5 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

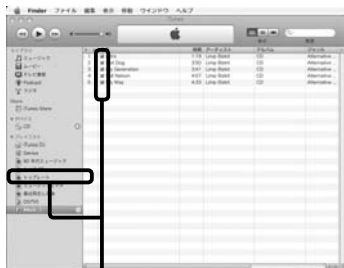
6 **[読み込み]** をクリックする

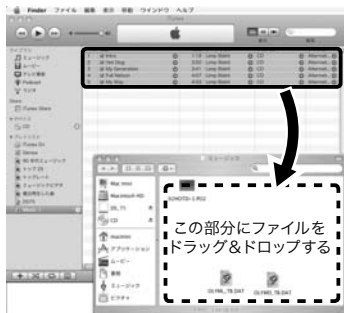
音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は「**CD から音楽をコピーする**」をご覧ください（☞ P.150）。

1 本機をパソコンに接続し、iTunes を起動する

2 本機に転送するプレイリストを選択し、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

3 本機に対応するドライブをダブルクリックし、[**ミュージック**] フォルダを開く

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 音楽ファイルを転送する場合、本機の［**ミュージック**］フォルダにコピーをしてください。
- ［**ミュージック**］フォルダには、最大２階層まで階層を作成できます。また、［**ミュージック**］を含めて最大 128 フォルダまで作成できます。
- 各フォルダに最大で 999 件ずつのファイルを収納できます。

4 本機に転送したいファイルを選択し、［**ミュージック**］フォルダにドラッグ＆ドロップする

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は「**録音した音声をパソコンに取り込む**」をご覧ください (☞ P.131)。

1 **空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、iTunes を起動する**

2 **CD-R/RW にコピーするプレイリストを選択し、転送したい音楽ファイルにチェックをつける**

3 **[ディスク作成] をクリックする**

4 **CD-R/RW にコピーするときのディスク形式を設定したら [ディスクを作成] をクリックする**

[オーディオ CD] を選んだ場合：CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

[MP3 CD] を選んだ場合：MP3 形式でコピーします。

[データ CD] を選んだ場合：録音したときのファイル形式でコピーします。

ポッドキャストコンテンツを取り込む

Windows

ポッドキャストコンテンツの取り込みは、ポッドキャスト番組のアイコンをドラッグ＆ドロップまたはコンテンツのアドレスを登録することでコンテンツを検出し、取り込みを行なうことができます。

Macintosh 版では、この機能はサポートされていません。付属の iTunes などを使用して、ポッドキャストコンテンツの取り込みを行なってください。

ポッドキャストの番組を登録する

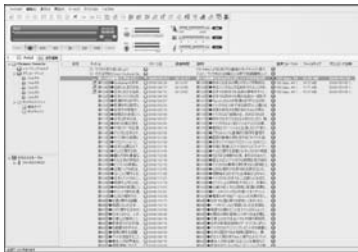
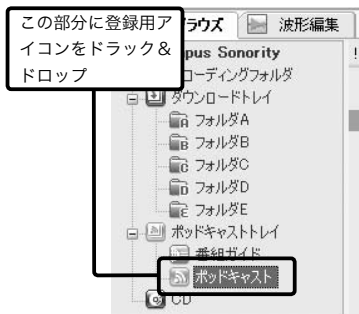
1 **Olympus Sonority を起動する**

2 **ウェブブラウザを起動し、ポッドキャスト配信サイトを表示する**

3 **ポッドキャスト登録用のアイコンを Olympus Sonority の［ポッドキャスト］フォルダへドラッグ＆ドロップする**

- ポッドキャスト登録用のアイコンは各配信サイトによって異なります。詳しくは各配信サイトをご確認ください。

4 **番組の登録完了**

- 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。
  初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

ご注意

- 本機で再生できるファイル形式は P.38 を参照してください。

番組を更新する

Windows

初期設定では、Olympus Sonority に登録した番組は自動的に更新されます。番組の更新間隔は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

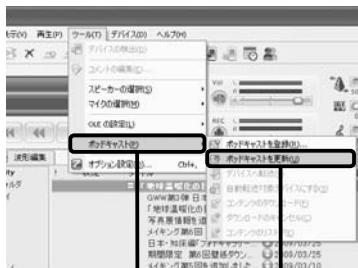
自動で番組を更新しない場合、以下の手順で番組を更新することができます。

Macintosh 版の場合は、番組の登録・更新およびダウンロードの機能はありません。付属の iTunes などのアプリケーションを使用して行なってください。

1 **［ポッドキャスト］フォルダを選ぶ**

2 **更新したい番組を選ぶ**

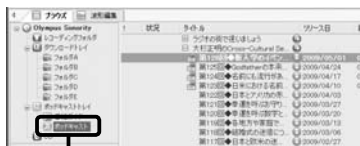
3 **［ツール］メニューから［ポッドキャストを更新］を選ぶか、ツールバーの［ ］をクリックする**

- 番組の更新を開始します。
  番組が更新されると、新しいコンテンツがグレーで表示されます。グレーで表示されているコンテンツは、まだパソコンへダウンロードされていないことを表します。

コンテンツをダウンロードする

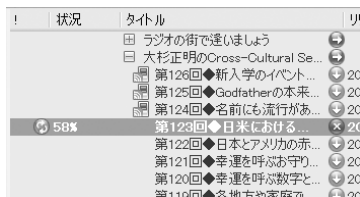
Windows

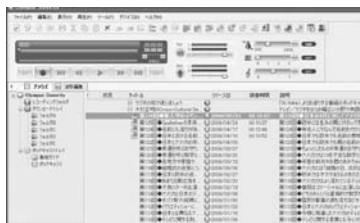
初期設定では番組を更新した際に新しいコンテンツがあった場合、最新のコンテンツを自動でダウンロードします。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.125）をご覧ください。

手動でダウンロードを開始する場合、以下の手順でダウンロードすることができます。

Macintosh 版の場合は、番組の登録・更新およびダウンロードの機能はありません。付属の iTunes などのアプリケーションを使用して行なってください。

1 **［ポッドキャスト］フォルダを選ぶ**

2 **ダウンロードしたいコンテンツの［入手］をクリックする**

- コンテンツのダウンロードを開始します。
  コンテンツをダウンロードしている間は、進行状況がパーセンテージで表示されます。

3 **ダウンロードの完了**

- ダウンロードが完了したコンテンツは再生したり、本機へ転送することができます。

コンテンツを本機へ転送する

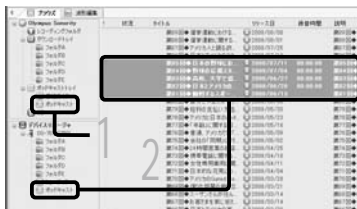
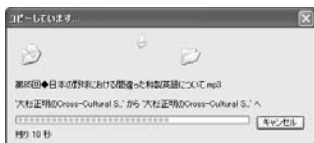
Windows **Macintosh**

初期設定では、本機をパソコンに接続すると、自動でコンテンツが本機の［**ポッドキャスト**］フォルダに転送されます。この設定は［**ツール**］メニューから［**オプション**］を選び、表示されたオプションダイアログの［**ポッドキャスト**］タブで変更可能です。詳細はオンラインヘルプ（☞P.125）をご覧ください。

手動でコンテンツを転送する場合、以下の手順で転送することができます。

Macintosh 版の場合は、付属の iTunes などで登録したポッドキャストコンテンツを、本機の［**ポッドキャスト**］フォルダにドラッグ＆ドロップすることで、本機に転送することができます。

1 ［ポッドキャスト］フォルダを選ぶ

2 転送したいコンテンツを選び、本機の［ポッドキャスト］フォルダへドラッグ＆ドロップする

- コンテンツの転送を開始します。コンテンツを転送している間は、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

3 転送の完了

- 本機へ転送したコンテンツには転送済みアイコン［ ］が表示されます。
本機の**ポッドキャスト**ボタンを押すと、転送したファイルを簡単に開くことができます。

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損する可能性があります。

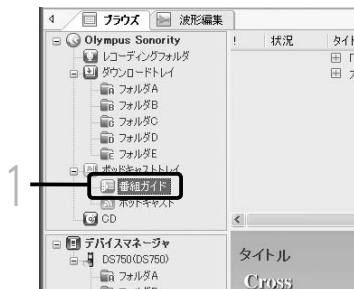
番組ガイド機能について

Olympus Sonority では、OLYMPUS 関連のポッドキャストの番組を簡単に登録することができ、自動的に新しいコンテンツをダウンロードすることができます。またパソコンに接続するだけで、新しいコンテンツを本機へ転送することができます。
Macintosh 版では番組ガイドの機能はありません。

Windows

番組を登録する

1 **メインツリービューのオンラインサービスにある［番組ガイド］をクリックする**

- オンライン上に登録されている番組情報が表示されます。

2 **番組一覧からお好みの番組をクリックする**

- 番組詳細ビューに番組の詳細情報が表示されます。

3 **［登録する］をクリックしてポッドキャストに登録する**

- 番組が登録されると、［**ポッドキャスト**］フォルダのリストビューに、番組が配信しているコンテンツが一覧表示されます。
  初期設定では登録時に配信されている最新のコンテンツが自動でダウンロードされます。

7

番組ガイド機能について

パソコンの外部メモリとして使う

IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほかに、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存することが可能です。

Windows

1 **本機をパソコンに接続する (☞ P.126)**

2 **エクスプローラを起動する**

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（お使いのパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 **製品名のフォルダをクリックする**

4 **データをコピーする**

5 **本機をパソコンから取り外す (☞ P.127)**

Macintosh

1 **本機をパソコンに接続する (☞ P.126)**

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 **デスクトップの製品名のアイコンをダブルクリックする**

3 **データをコピーする**

4 **本機をパソコンから取り外す (☞ P.127)**

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery Low)	電池残量がない。	新しい電池に交換してください (☞ P.16)。
ファイルロック中！消去できません (File Protected)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (☞ P.54)。
A ～ E フォルダで録音してください (Cannot record in this folder)	［**ミュージック**］［**ポッドキャスト**］フォルダで録音しようとした。	［A］～［E］フォルダを選択し直して録音してください (☞ P.25、P.28)。
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) (Index Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使っている。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.42)。
これ以上記録できません (テンプマークをつけるとき) (Temp Mark Full)	ファイル内でテンプマークを最大数（16）まで使っている。	必要のないテンプマークを消去してください (☞ P.42)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（999）になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.46)。
メモリに異常があります (Memory Error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ P.168)。
microSD カードに異常があります (Card Error)	microSD カードが正しく認識されていない。	もう 1 度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.23 ～ P.24)。
不正コピーされたファイルです (Licence Mismatch)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください (☞ P.46)。
メモリがいっぱいです (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.46)。
ファイルがありません (No File)	フォルダ内にファイルがない。	フォルダを選び直してください (☞ P.25 ～ P.28)。
初期化に失敗しました (Format Error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.114)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去して下さい (Can’t make the system file.Connect to PC and delete unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続して、不要なファイルを消去してください。

表示	詳細	解決方法
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを確認ください（☞ P.34）。
ファイルを選んでください (Please Select The File)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選択してから操作してください（☞ P.28）。
移動（コピー）できないフォルダです (Same folder. Can't be moved (copied) .)	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選択してください。
移動（コピー）できないファイルがあります (Some files. Can't be moved (copied) .)	移動（コピー）先に同一ファイル名がある場合や、DRM 付のファイルの場合。	ファイルを選びなおしてください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した PCM ファイル以外を分割しようとした場合。	ファイルを選びなおしてください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.16）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.16 ～ P.18）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.19）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.16 ～ P.18）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.19）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.20）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	別のフォルダに切り替えてください（☞ P.25 ～ P.28）。

症状	考えられる原因	対処方法
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.35）。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.69）。
	マイク感度が低い。	マイク感度を［**高**］または［**中**］にしてもう一度録音してみてください（☞ P.66）。
	接続した外部機器の出力レベルが低い。	録音レベルを調整してもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音モード**］がモノラル録音形式である。	［**録音モード**］をステレオ形式から選ぶ（☞ P.67）。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	フォルダを切り替えてください（☞ P.25 ～ P.28）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	――――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.54）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないフォルダがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください。

<table>
<tr><th>症状</th><th>考えられる原因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td rowspan="2">録音モニターでノイズが聞こえる</td><td rowspan="2">ハウリングをおこしています。</td><td>アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこす恐れがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。</td></tr>
<tr><td>イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">インデックスマーク･テンプマークがつけられない</td><td>マーク件数が最大（16 件）になっている。</td><td>必要のないマークは消去してください（☞ P.42）。</td></tr>
<tr><td>ファイルロックがかかっている。</td><td>ファイルロックを解除してください（☞ P.54）。</td></tr>
<tr><td>読み取り専用ファイルである。</td><td>ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">充電ができない</td><td>ニッケル水素充電池以外の電池が入っている。</td><td>付属の充電池を入れてください。</td></tr>
<tr><td>停止 ■ ボタンを押していない。</td><td>停止 ■ ボタンを押しながらパソコンや USB 接続 AC アダプタに接続してください。</td></tr>
</table>

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V　50/60Hz）

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

モノラルマイクロホン ME30 2 本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性ガンマイク。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

専用リモコンセット：RS30W

受信機をリモートジャックに取り付けるとリモコンで本機の録音／停止の操作ができます。受信位置は調整できるので、さまざまな角度から本機を操作できます。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単 4 形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400

ニッケル水素充電器 BU-400 と、単 4 形ニッケル水素充電池 BR401 の 4 本組セットです。オリンパス製の単 3、単 4 形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

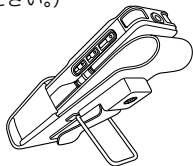
単 4 形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

キャリングケース：CS126（DS-750 に同梱）

DS-750、DS-700 用のキャリングケースで、本体を衝撃や汚れからガードします。ケース背面にはベルトを通せるクリップや三脚穴付きです。また、本機のスタンドとしてもお使いいただけます。（三脚を取り付ける場合は、本機を回さず三脚側のネジを回してください。）

用語の説明

用語	意味
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA (Windows Media Audio)、MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
サンプリングレート	1秒間あたりに処理できるデータの記録回数のことです。記録回数が多いほど周波数が高くなり、一般的には音質が良くなります。音楽用 CD では 44.1kHz で処理されています。
ファイルロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
テンプマーク	本機以外で作成されたファイルに付けられる頭出し信号のことです。パソコンに転送すると消えてしまいます。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。(本製品では、メモリ内部の情報を全てクリアしますが、メニューの設定情報はクリアしません。)
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所 (入れ物) です。
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵メモリや microSD カードのことを指します。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP (ビープ) 音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

■記録媒体：

内蔵型メモリ
DS-750： 4GB
DS-700： 4GB
microSD カード（DS-750 のみ）
512MB ～ 16GB に対応

■記録形式：

リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
WMA（Windows Media Audio）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式

■規定入力レベル（マイク感度［中］）：

－ 60 dBv

■ヘッドホン最大出力：

3 mW ＋ 3 mW（22 Ω負荷時）

■スピーカ：

ϕ 23 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■マイクジャック：

ϕ 3.5 mm インピーダンス 2.2 kΩ

■イヤホンジャック：

ϕ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■スピーカ実用最大出力：

320 mW（スピーカ 8 Ω）

■電源：

電　　池：単 4 形乾電池 2 本（LR03）またはオリンパス製単 4 形ニッケル水素充電池 2 本
外部電源：USB 接続 AC アダプタ（A514）（DC 5V）

■外形寸法：

110 mm × 38.9 mm × 16 mm
（最大突起部含まず）

■質量：

84 g（ニッケル水素充電池含む）

■使用温度：

0 ～ 42℃

■同梱品：

本体／単 4 形ニッケル水素充電池× 2 ／ CD-ROM ／ USB ケーブル／キャリングケース・CS126（DS-750）、キャリングケース・CS127（DS-700）／ストラップ／ステレオイヤホン／取扱説明書（保証書付）

総合周波数特性

■ 録音／再生時（マイクジャック録音時）：

リニア PCM 形式

録音モード	周波数特性
48 kHz	40 Hz ～ 23 kHz
44.1 kHz	40 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

録音モード	周波数特性
320 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
256 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
192 kbps	40 Hz ～ 19 kHz
128 kbps	40 Hz ～ 17 kHz

WMA 形式

録音モード	周波数特性
ステレオ XQ	40 Hz ～ 19 kHz
ステレオ HQ	40 Hz ～ 16 kHz
ステレオ SP	40 Hz ～ 9 kHz
HQ	40 Hz ～ 13 kHz
SP	40 Hz ～ 8 kHz
LP	40 Hz ～ 3 kHz

■ 内蔵ステレオマイク録音時：

70 Hz ～ 20 kHz

- 但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モード（上表）による。

録音時間のめやす

■ リニア PCM 形式

録音モード	内蔵メモリ (4 GB)	microSD カード (DS-750 のみ)		
		1 GB	2 GB	4 GB
48 kHz	約 5 時間 45 分	約 1 時間 15 分	約 2 時間 45 分	約 5 時間 30 分
44.1 kHz	約 6 時間 15 分	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間

■ MP3 形式

録音モード	内蔵メモリ (4 GB)	microSD カード (DS-750 のみ)		
		1 GB	2 GB	4 GB
320 kbps	約 28 時間	約 6 時間 30 分	約 13 時間 30 分	約 27 時間
256 kbps	約 35 時間	約 8 時間	約 17 時間	約 34 時間
192 kbps	約 47 時間	約 11 時間	約 23 時間	約 45 時間
128 kbps	約 70 時間 30 分	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間

■ WMA 形式

録音モード	内蔵メモリ (4 GB)	microSD カード (DS-750 のみ)		
		1 GB	2 GB	4 GB
ステレオ XQ	約 69 時間	約 16 時間	約 33 時間	約 66 時間
ステレオ HQ	約 138 時間	約 32 時間	約 67 時間	約 133 時間
ステレオ SP	約 276 時間	約 65 時間	約 135 時間	約 266 時間
HQ	約 276 時間	約 65 時間	約 135 時間	約 266 時間
SP	約 543 時間	約 128 時間	約 267 時間	約 524 時間
LP	約 1080 時間	約 255 時間	約 531 時間	約 1042 時間

リニア PCM 形式で 2GB を超えての録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2 GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB 毎に分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 2GB を超えて録音したときは、フォルダ内のファイル件数が 999 件を超える場合があります。1000 件目以降のファイルは本機では認識しませんので、パソコンと接続して確認してください。

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。
- ビット数・ビットレートが低い場合、録音可能時間の差が大きくなるため、注意が必要です。

1 ファイルあたりの最長録音時間

■ リニア PCM 形式

録音モード	録音時間
48 kHz	約 3 時間
44.1 kHz	約 3 時間 20 分

■ MP3 形式

録音モード	録音時間
320kbps	約 29 時間 40 分
256 kbps	約 37 時間 10 分
192 kbps	約 49 時間 40 分
128 kbps	約 74 時間 30 分

■ WMA 形式

録音モード	録音時間
ステレオ XQ	約 26 時間 40 分
ステレオ HQ	約 26 時間 40 分
ステレオ SP	約 53 時間 40 分
HQ	約 26 時間 40 分
SP	約 53 時間 40 分
LP	約 148 時間 40 分

ご注意

- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は上記の値に制限されています。

電池持続時間のめやす

■ アルカリ乾電池：

録音モード	内蔵ステレオマイク 録音時	内蔵スピーカ 再生時	イヤホン 再生時
48 kHz	約 32 時間	約 18 時間	約 49 時間
MP3 128kbps	約 37 時間	約 19 時間	約 57 時間
ステレオ XQ	約 38 時間	約 19 時間	約 58 時間
LP	約 51 時間	約 19 時間	約 58 時間

■ ニッケル水素充電池：

録音モード	内蔵ステレオマイク 録音時	内蔵スピーカ 再生時	イヤホン 再生時
48 kHz	約 27 時間	約 15 時間	約 39 時間
MP3 128kbps	約 30 時間	約 16 時間	約 45 時間
ステレオ XQ	約 30 時間	約 16 時間	約 46 時間
LP	約 41 時間	約 16 時間	約 46 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品を安心してご愛用いただくために、当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ の［ユーザー登録］をご利用ください。

● **オリンパスホームページ**
http://www.olympus.co.jp で関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは**
オリンパスカスタマーサポートセンター
Tel ：0120 − 084215
携帯電話・PHS：042 − 642 − 7499
Fax：042 − 642 − 7486

※カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページの［お客様サポート］をご確認ください。

● **修理に関するお問い合わせは**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。なお、保証期間経過後の修理は有料となります。保証期間中でも運賃などの諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品をお送りいただく場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

索引

記号・数字

アルファベット

D

E

I

L

M

O

P

U

W

かな

あ

い

お

か

き

け

こ

さ

め

り

ろ

ゆ

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ．火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ．本書のご提示がない場合。
   ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN）

販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から１年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部　品　代	修　理　工　料
本　　体	１年	無　料	
品　　名	ボイストレック	型　名	**DS-750/700**
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販 売 店 名	無 効		

J1-BS0306-02　AP1105